

# 避難者アンケート調査 集計結果

平成30年9月

山形県広域支援対策本部避難者支援班

<b>I 調査の概要</b>	
1 調査の目的	－ 1 －
2 調査項目	－ 1 －
3 調査設計	－ 1 －
<b>II 調査結果</b>	
<b>【回答者について】</b>	
回答者の性別、年齢、避難先の市町村	－ 2 －
<b>1 世帯の現状について</b>	
(1) 避難元の県・市町村、避難の理由	－ 3 －
(2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類	－ 4 －
<b>2 山形での生活について</b>	
(1) 「困っていること、不安なこと」について	－ 7 －
(2) 生活資金について	－ 8 －
(3) 避難者支援に関する情報の入手について	－ 9 －
<b>3 今後の生活について</b>	
(1) 今後の予定について	－ 11 －
(2) 避難期間の見通しと帰還について	－ 12 －
(3) 山形県内への定住について	－ 14 －
<b>4 心身の健康について</b>	
(1) 心身の不調について	－ 18 －
(2) 健康の相談相手について	－ 19 －
(3) 心身の健康に関する要望について	－ 20 －
(4) 福祉サービスの利用状況及び困っていることについて	－ 21 －
<b>5 教育や子育てについて</b>	
(1) 教育や子育てで困っていることについて	－ 22 －
(2) 子育ての相談相手について	－ 23 －
(3) 教育や子育てに関する要望について	－ 24 －
<b>6 就業・就職について</b>	
(1) 就業状況、転職・就職の希望について	－ 25 －
(2) 就職に関する相談窓口について	－ 27 －
(3) 県内の就職で困っていることについて	－ 28 －
<b>7 相談支援機関と相談交流について</b>	
(1) 相談支援機関の利用状況	－ 29 －
(2) 相談交流の参加状況	－ 31 －
<b>8 県内で行っている避難者支援事業について</b>	
(1) 山形県内での支援に対する評価	－ 32 －
(2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について	－ 33 －
(3) 県内での避難者への支援として期待するもの	－ 34 －
(4) 今後実施してほしい避難者支援事業	－ 35 －
<b>9 自由記入欄</b>	
(1) 避難元に対し県から伝えてもらいたいこと	－ 36 －
(2) 政府に対し県から伝えてもらいたいこと	－ 36 －
(3) その他、避難生活で感じていること	－ 36 －
<b>III 参考資料</b>	
アンケート調査票	

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

東日本大震災から7年が経過しましたが、現在も2千人を超える方々が本県での避難生活を続けています。

避難生活が長期化する中で、避難者の方々がどのようなニーズをもっているか、どのような支援を望んでいるか等を調査し、今後の避難者支援策に資することを目的として実施しました。

## 2 調査項目

- (1) 世帯の現状について
- (2) 山形での生活について
- (3) 今後の生活について
- (4) 心身の健康について
- (5) 教育や子育てについて
- (6) 就業・就職について
- (7) 相談支援機関と相談交流について
- (8) 県内で行っている避難者支援事業について

## 3 調査設計

- (1) 調査地域 : 山形県全域
- (2) 調査対象 : 東日本大震災により山形県内に避難されている702世帯
- (3) 調査方法 : 郵送によるアンケート調査
- (4) 調査期間 : 平成30年7月上旬～7月下旬
- (5) 集計数 : 200件 (回収率: 28.5%)

※参考 平成29年度は725世帯に送付し、回収は176件 (回収率24.3%)

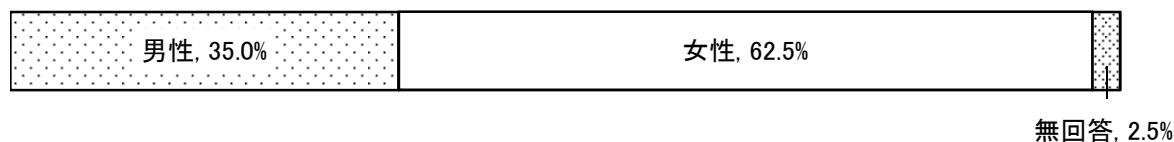
### ※ 注意点

- (1) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- (2) 一つの質問で回答が複数ある場合、回答率が100%を超える場合があります。

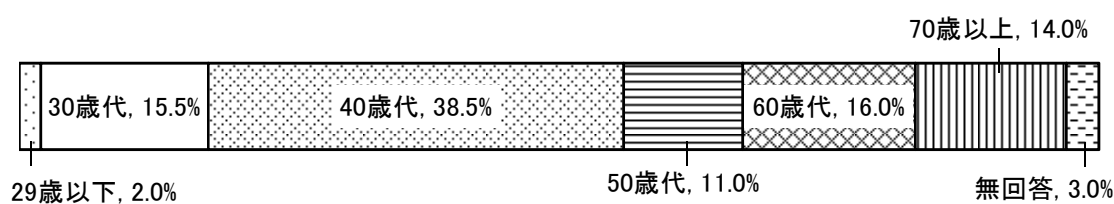
## Ⅱ 調査結果

【回答者について】

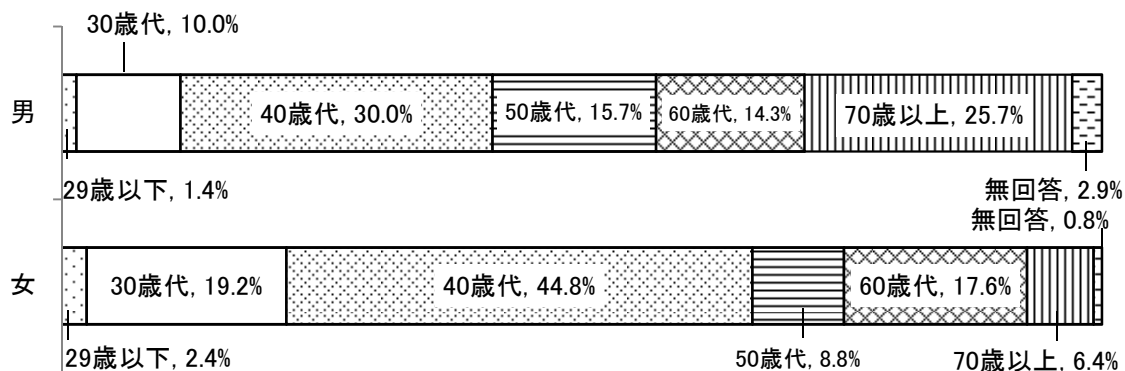
### 性別



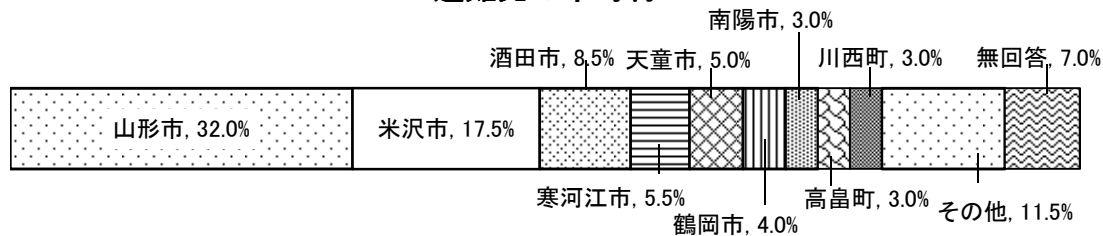
### 年齢



### 男女別年齢



### 避難先の市町村



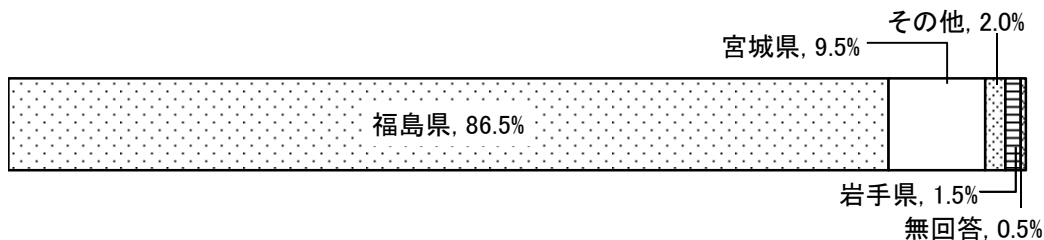
回答者の性別は、男性が 35.0%、女性が 62.5%、無回答が 2.5%となっています。

年齢別では多い順から、40歳代 38.5%、60歳代 16.0%、30歳代 15.5%で、男性は 50歳以上が 55.7%となっているのに対し、女性は 30歳代と 40歳代で 64.0%となっています。

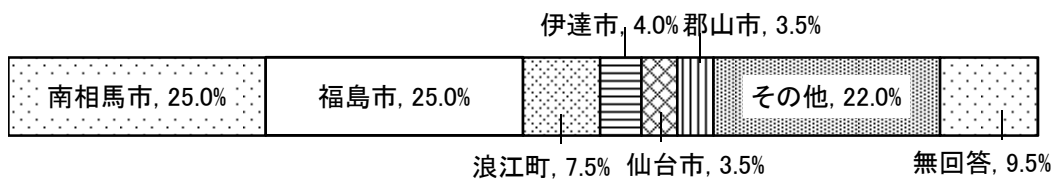
避難先の市町村は、山形市が 32.0%と最も多く、次いで米沢市、酒田市、寒河江市の順となっています。

1 世帯の現状について  
 (1) 避難元の県・市町村、避難の理由

避難元の県

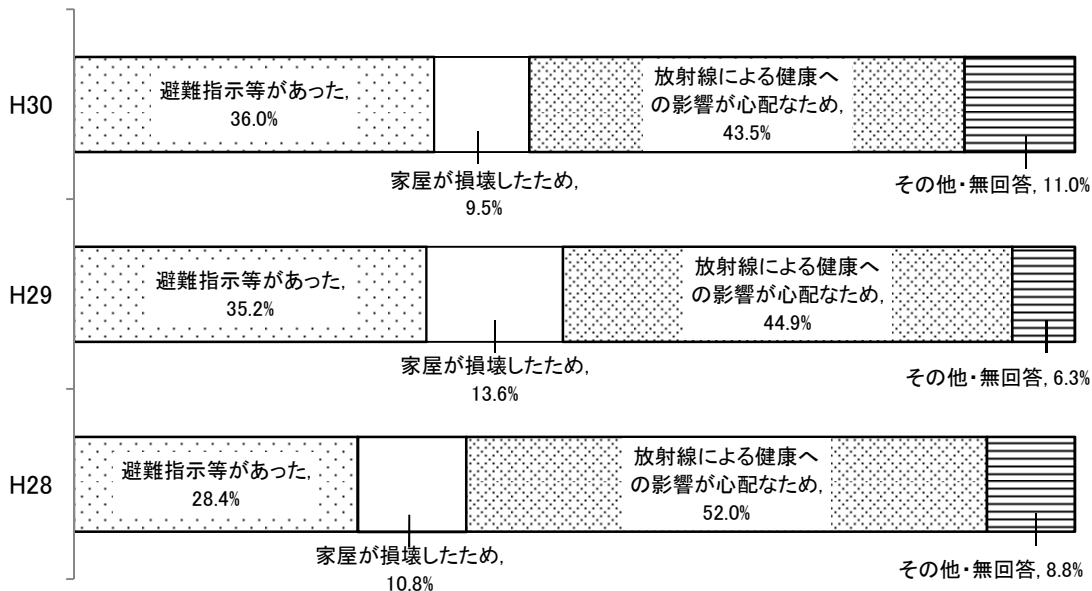


避難元の市町村



避難元については、福島県が 86.5%、宮城県が 9.5%でした。市町村別では、南相馬市、福島市、浪江町、伊達市、仙台市、郡山市の順となっています。

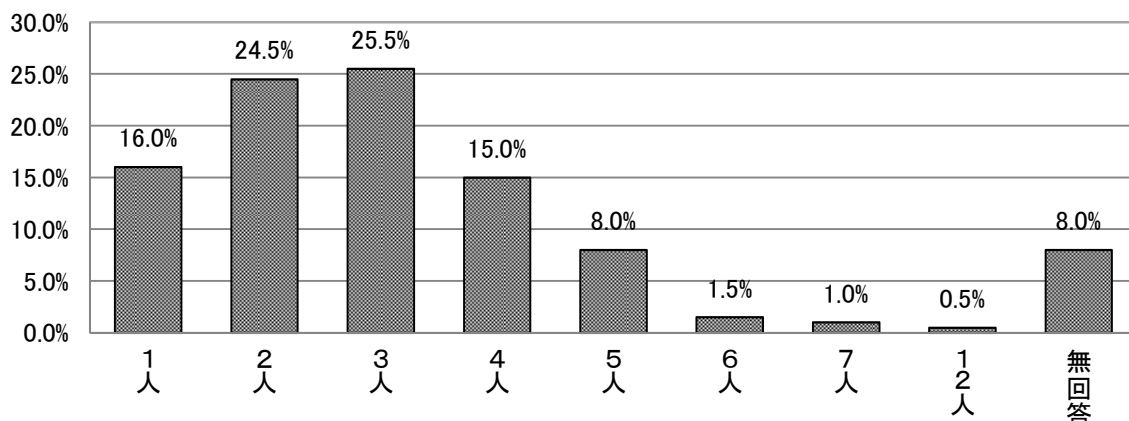
避難の理由



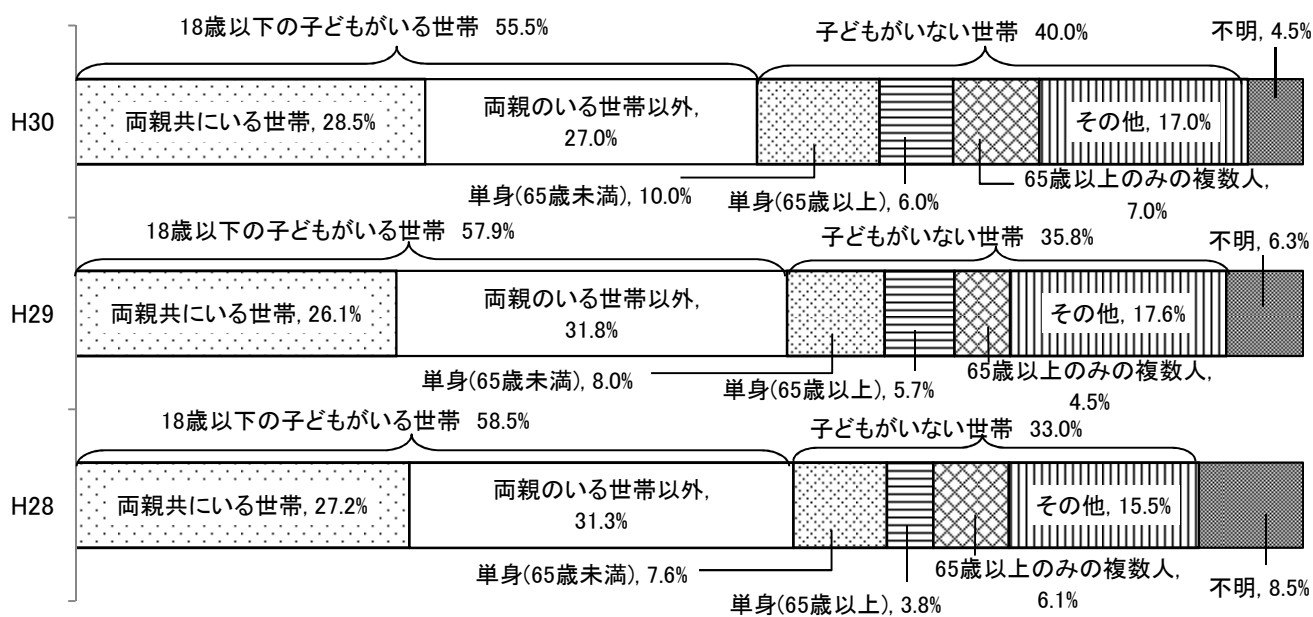
避難の理由は、「放射線による健康への影響が心配なため」が 43.5%と一番多く、次いで「避難指示があった」36.0%、「家屋が損壊したため」9.5%となっています。

(2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類

家族の人数

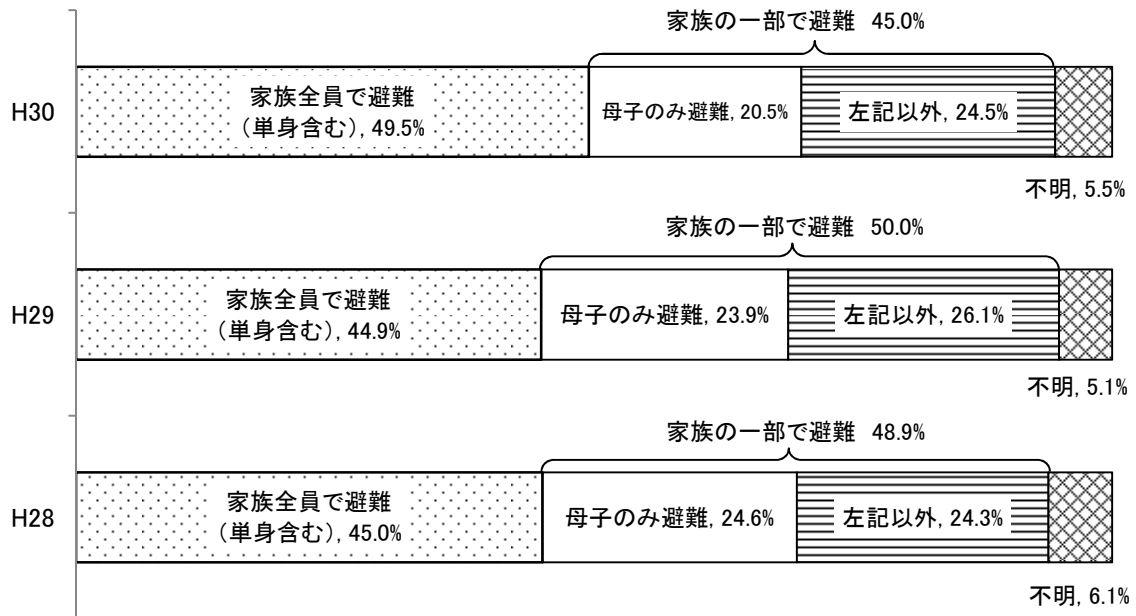


家族の構成

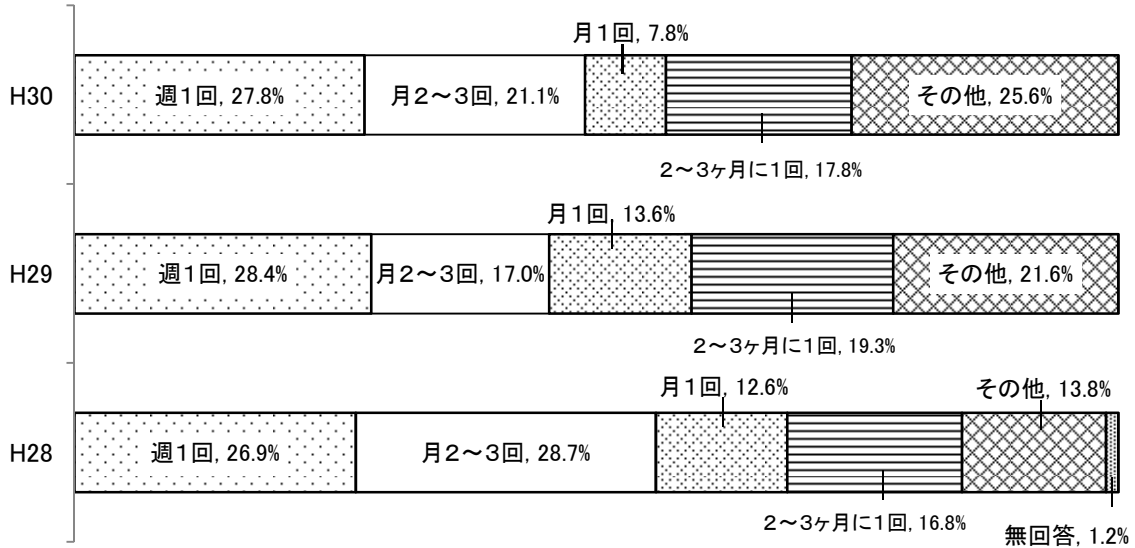


家族の構成は、子どもがいる世帯は55.5%、子どもがいない世帯は40.0%となっています。65歳未満の単身世帯は10.0%、65歳以上の高齢者のみの世帯は単身世帯と複数人世帯を合わせて13.0%となっています。

## 避難の状況

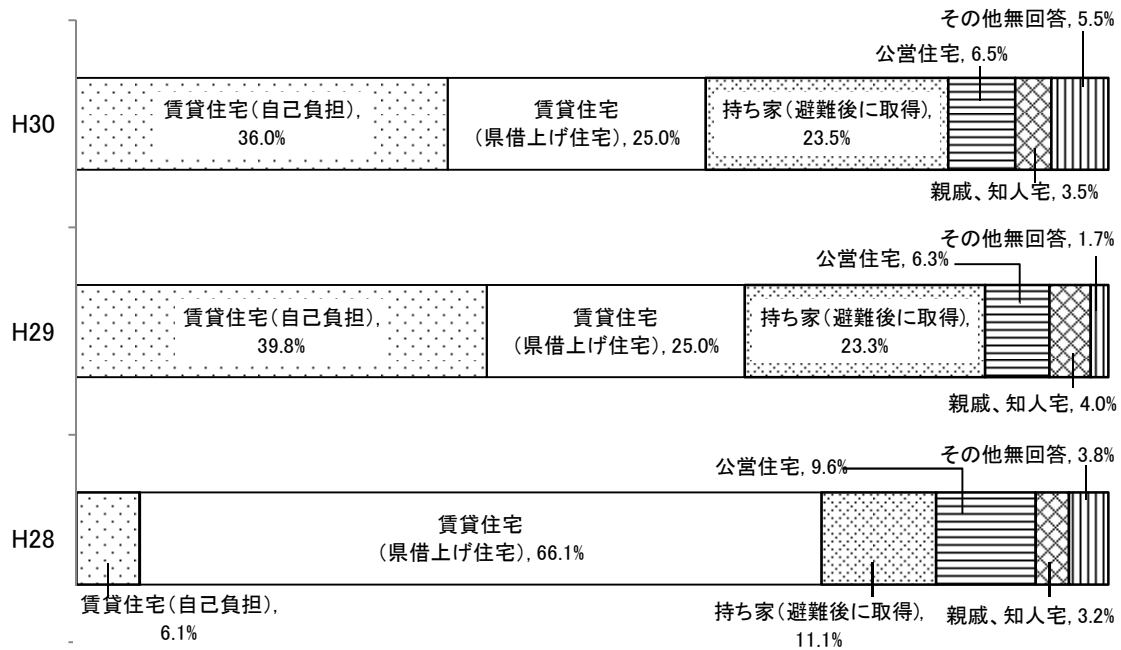


## 避難元の家族と会う頻度 (設問の対象者は家族の一部で避難された方)



避難の状況は、家族全員で避難している世帯が49.5%、家族の一部で避難している世帯が45.0%となっており、母子のみで避難している世帯が全体の20.5%で、その割合は年々低下しています。

## 避難している住宅の種類



避難している住宅の種類は、「賃貸住宅（自己負担）」が 36.0%、「賃貸住宅（県借上げ住宅）」が 25.0%、持ち家（避難後に取得）が 23.5%となっています。

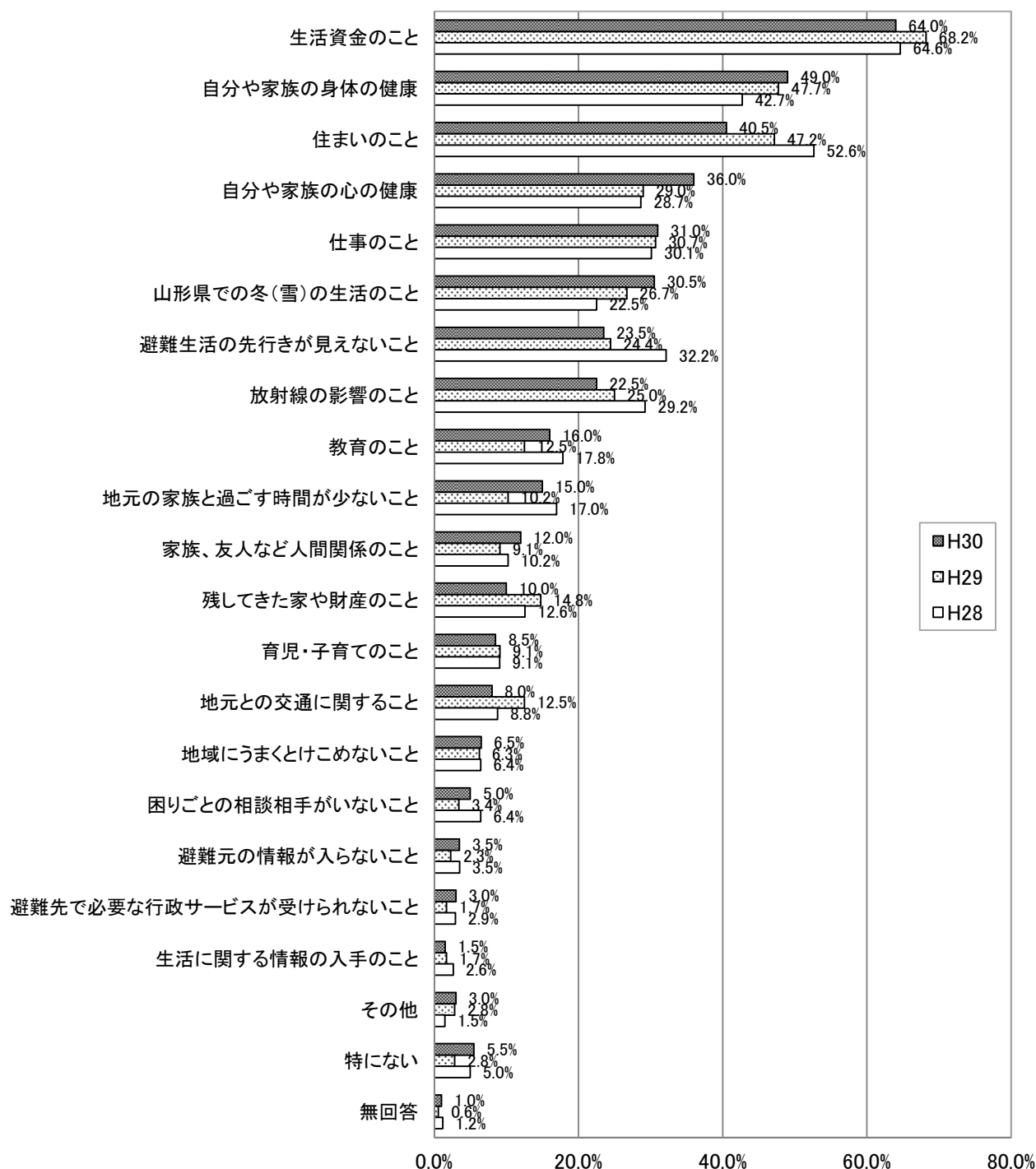
※平成 29 年 3 月で、避難指示区域以外の避難者への借上げ住宅の供与が終了。



## 2 山形での生活について

### (1) 「困っていること、不安なこと」について

#### 今の生活で困っていること、不安なこと(複数回答)



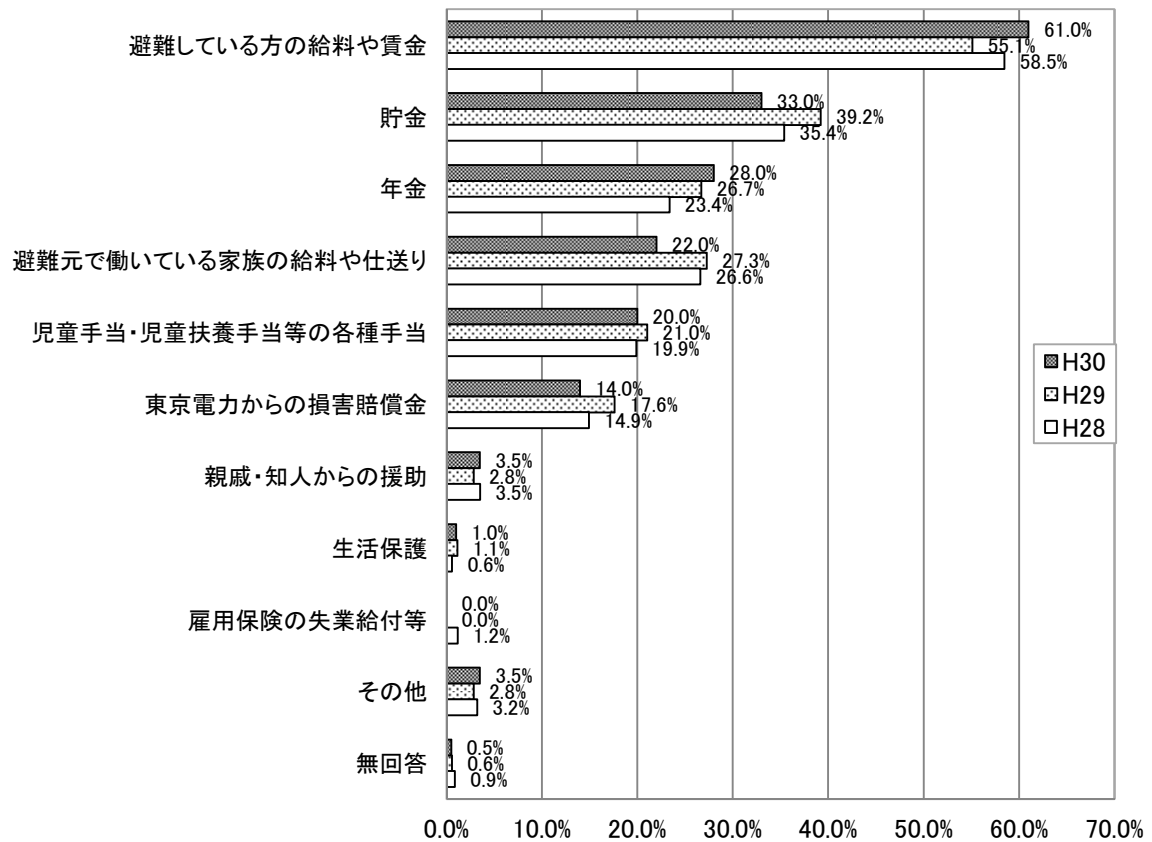
今の生活で困っていること・不安なことは、「生活資金のこと」が 64.0%と最も多く、次いで「自分や家族の身体の健康」49.0%、「住まいのこと」40.5%の順となっております。

「住まいのこと」は40%を超えたものの、その割合は年々低下しています。

「避難生活の先行きが見えないこと」、「放射線の影響のこと」などの割合も年々低下しています。

(2) 生活資金について

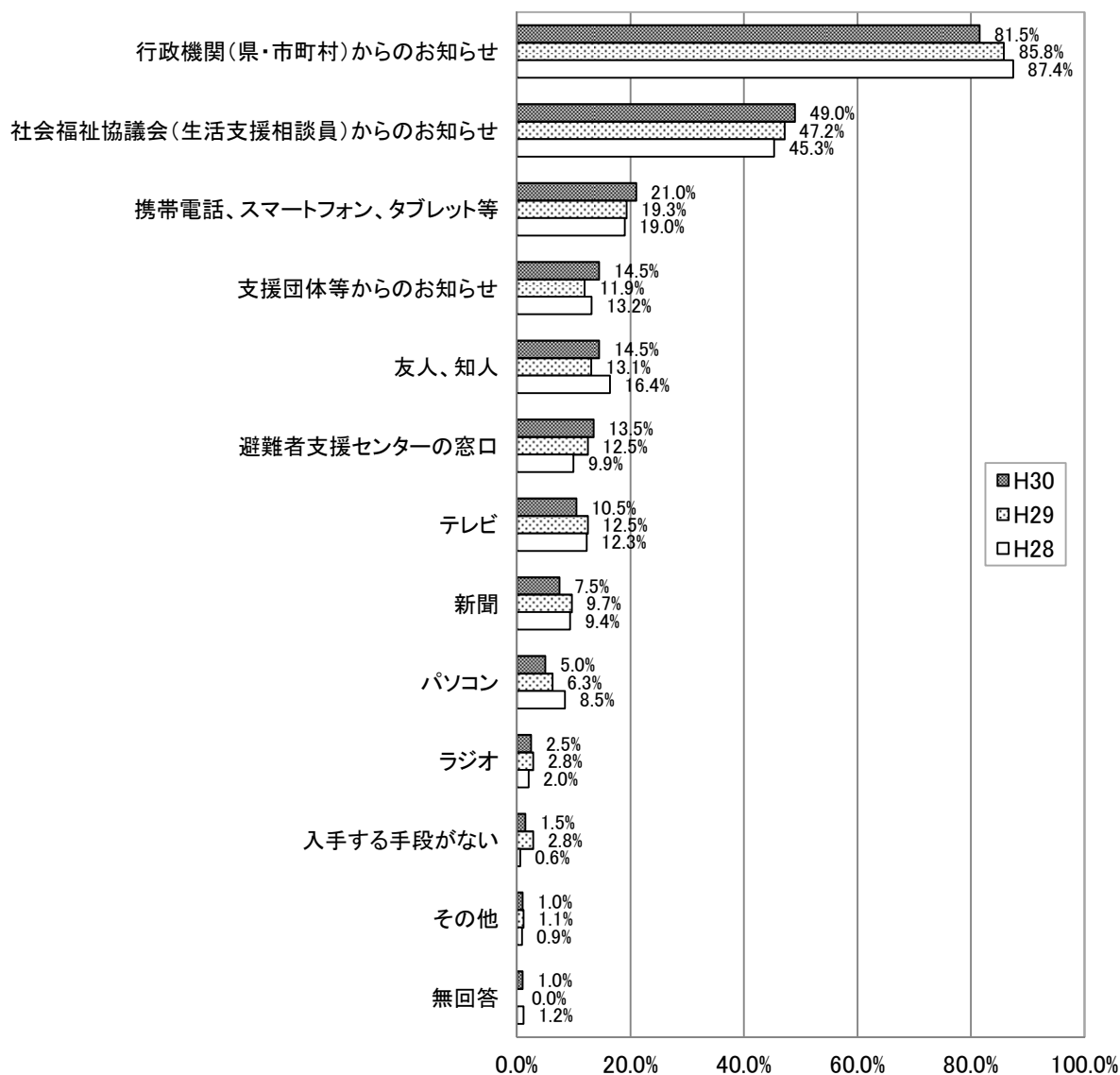
世帯の生活資金(あてはまるもの3つまで)



世帯における生活資金をどこから得ているかについては、「避難している方の給料や賃金」が61.0%と最も高く、続いて「貯金」、「年金」、「避難元で働いている家族の給料や仕送り」、「児童手当・児童扶養手当等」の順となっています。

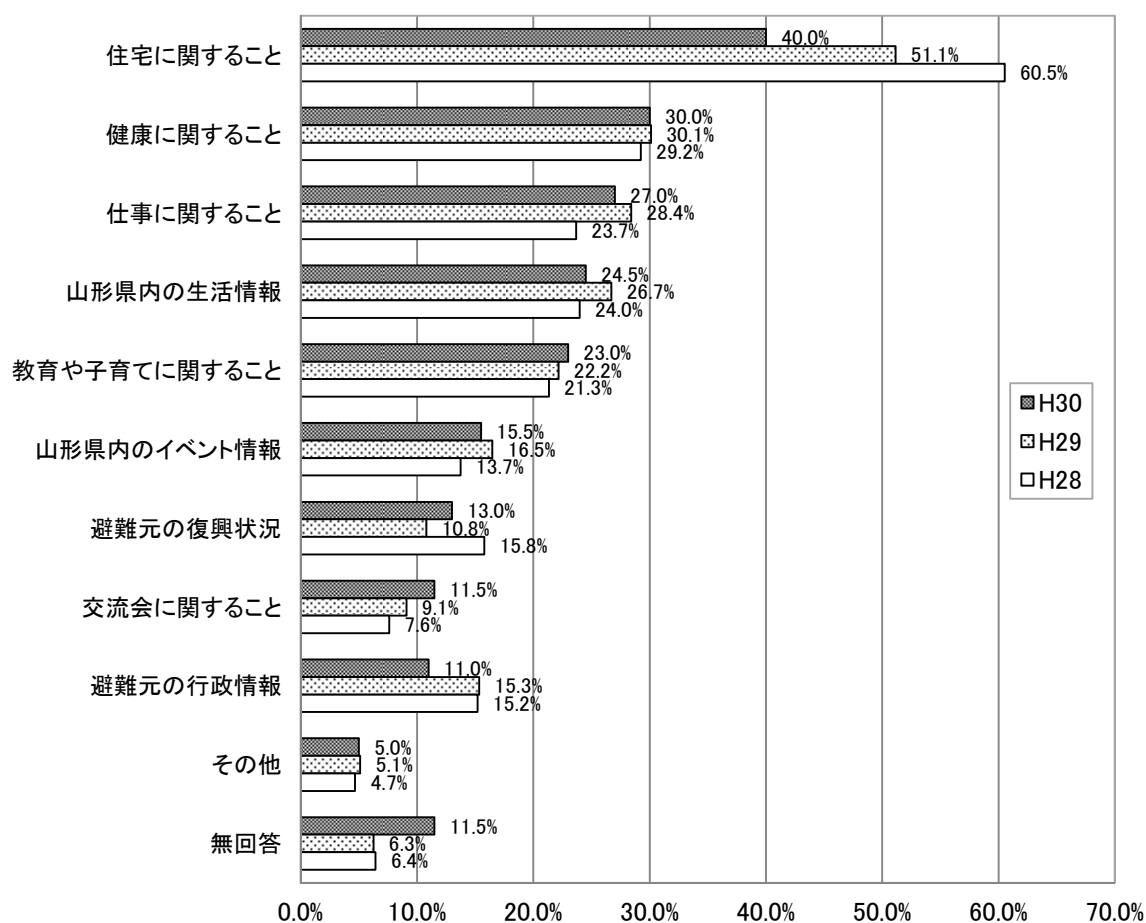
### (3) 避難者支援に関する情報の入手について

#### 避難者支援に関する情報の入手手段(複数回答)



避難者支援に関する情報の入手手段は、「行政機関(県・市町村)からのお知らせ」が81.5%と最も多く、次いで「社会福祉協議会(生活支援相談員)からのお知らせ」、「携帯電話、スマートフォン、タブレット等」、「支援団体等からのお知らせ」の順となっています。

### 避難者支援に関する情報で希望する内容(複数回答)

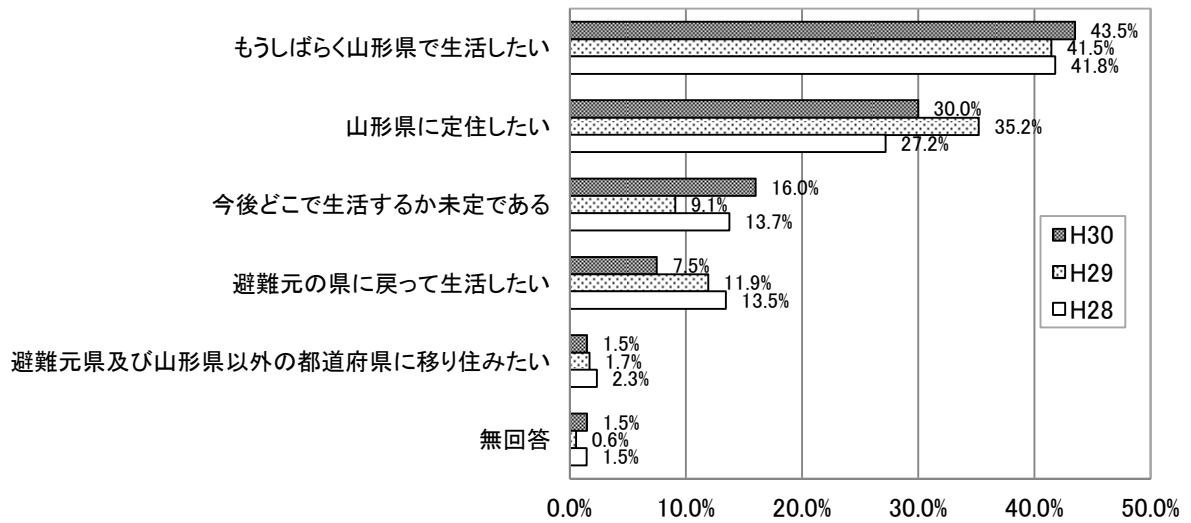


避難者支援に関する情報で希望する内容は、「住宅に関すること」が 40.0%と最も高くなっているもののその割合は年々低下し、昨年比では 11 ポイント以上低下しています。

次いで「健康に関すること」、「仕事に関すること」、「山形県内の生活情報」の順となっています。

3 今後の生活について  
 (1) 今後の予定について

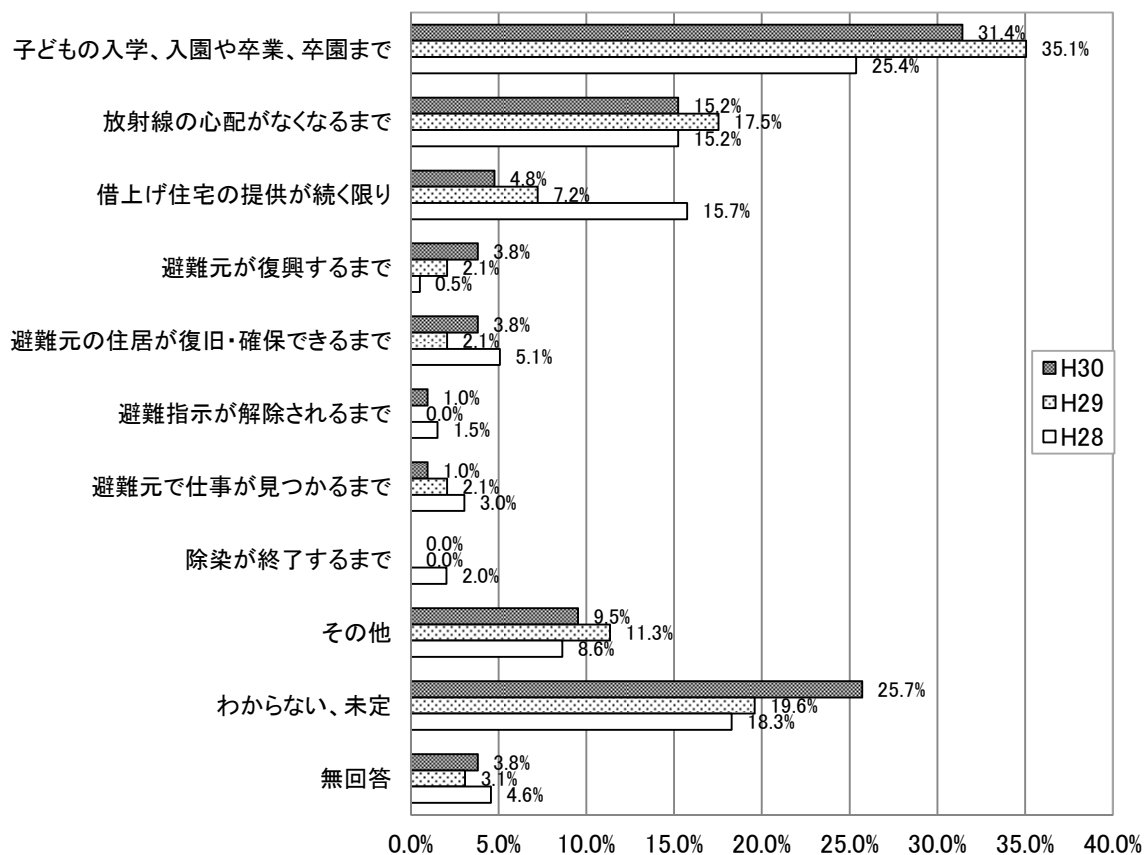
今後の予定



今後の予定について、「もうしばらく山形県で生活したい」が43.5%、「山形県に定住したい」が30.0%で、当面、山形での生活を続けたいと考えている方が73.5%となっています。

(2) 避難期間の見通しと帰還について

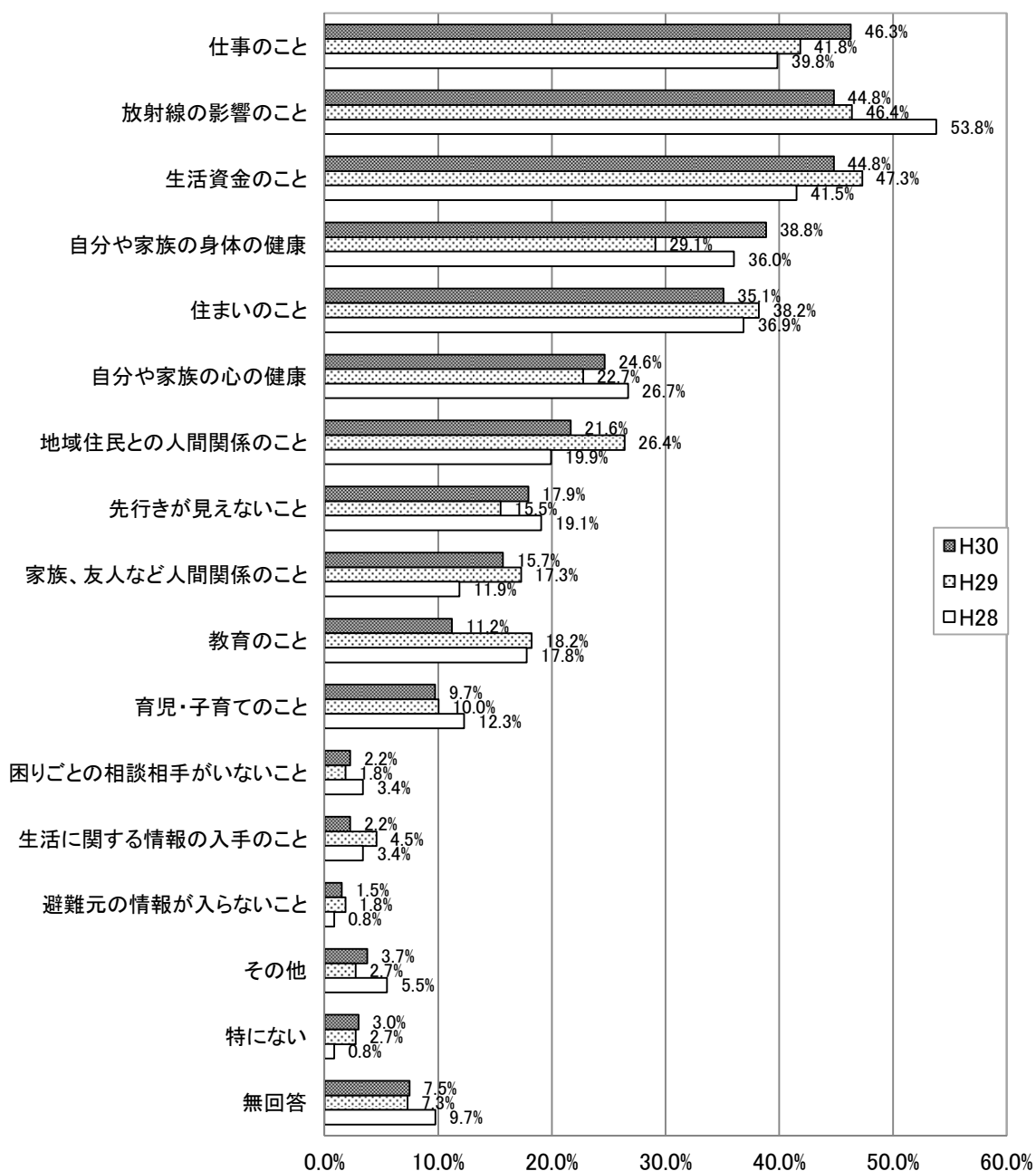
山形県内での避難期間の見通し



3 (1) で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方が、県内での避難生活をいつまでと考えているかについては、「子どもの入学、入園や卒業、卒園まで」が 31.4%で最も多く、次いで「放射線の心配がなくなるまで」の順となっています。

また、25.7%の方が「わからない、未定」となっています。

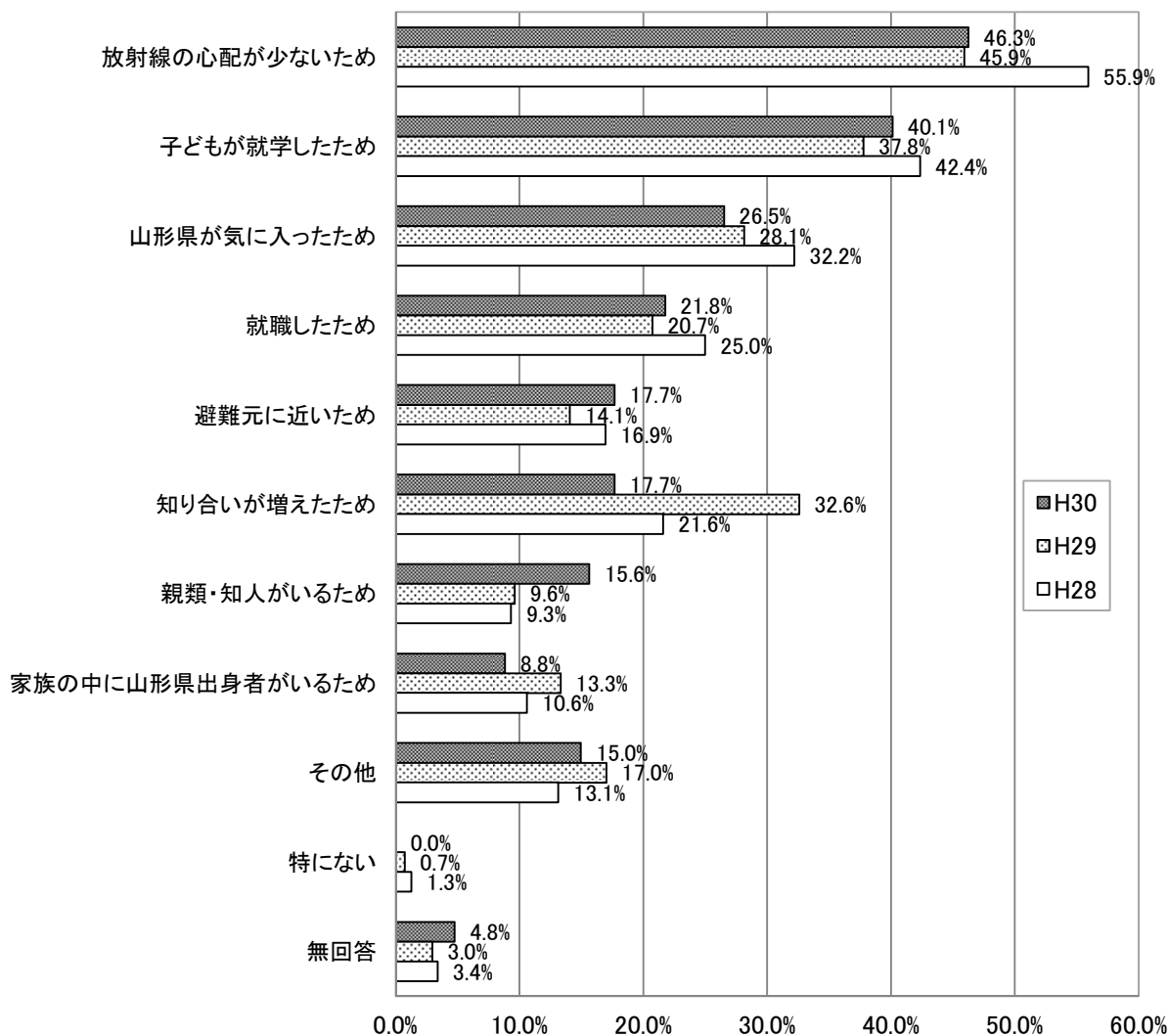
### 避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なこと(複数回答)



3(1)で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「今後どこで生活するか未定である」と答えた方の、避難元の県へ帰還することとなった場合の心配なことは、「仕事のこと」と答えた方が46.3%と最も多く、年々増加しています。次いで「放射線の影響のこと」、「生活資金のこと」の順となっています。「放射線の影響のこと」は年々減少しています。

(3) 山形県内への定住について

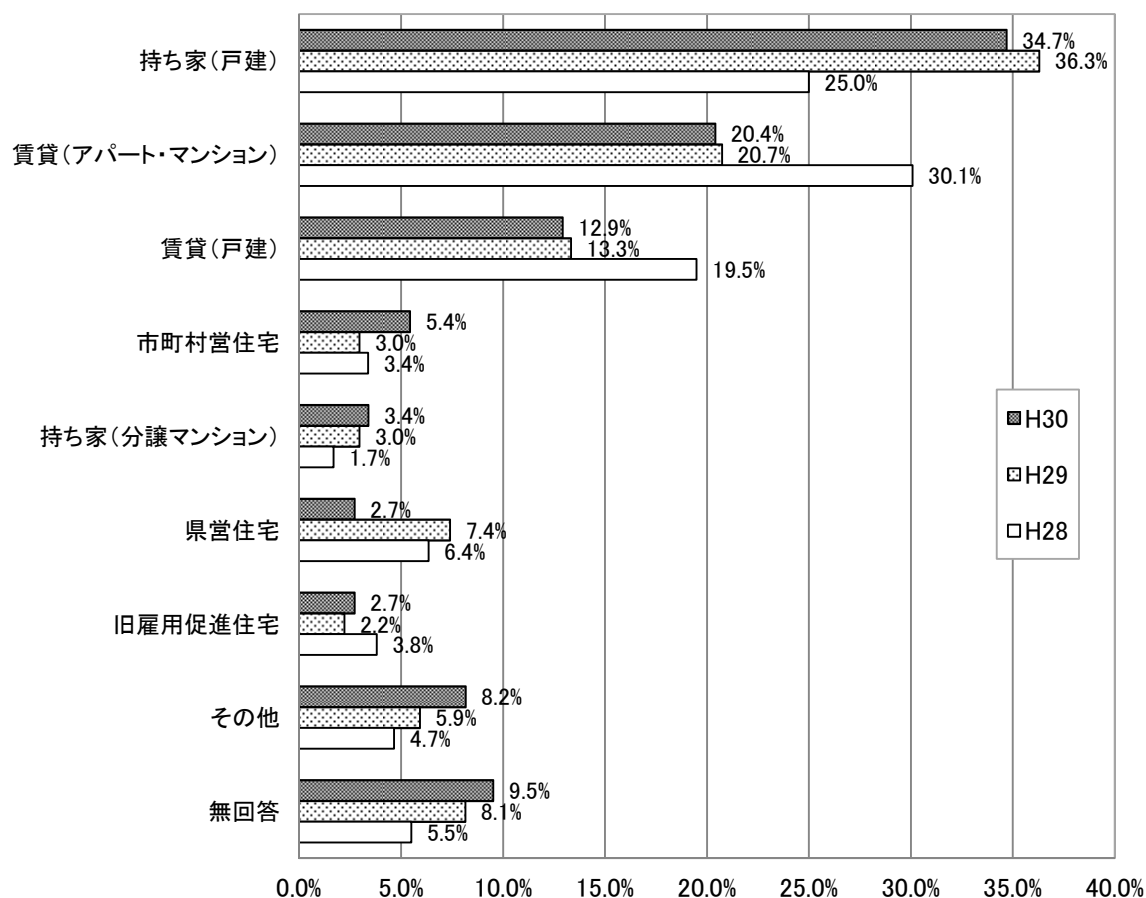
「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と  
 答えた方の理由(複数回答)



3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の理由は、「放射線の心配が少ないため」が46.3%と最も多く、次いで「子どもが就学したため」、「山形県が気に入ったため」の順となっています。

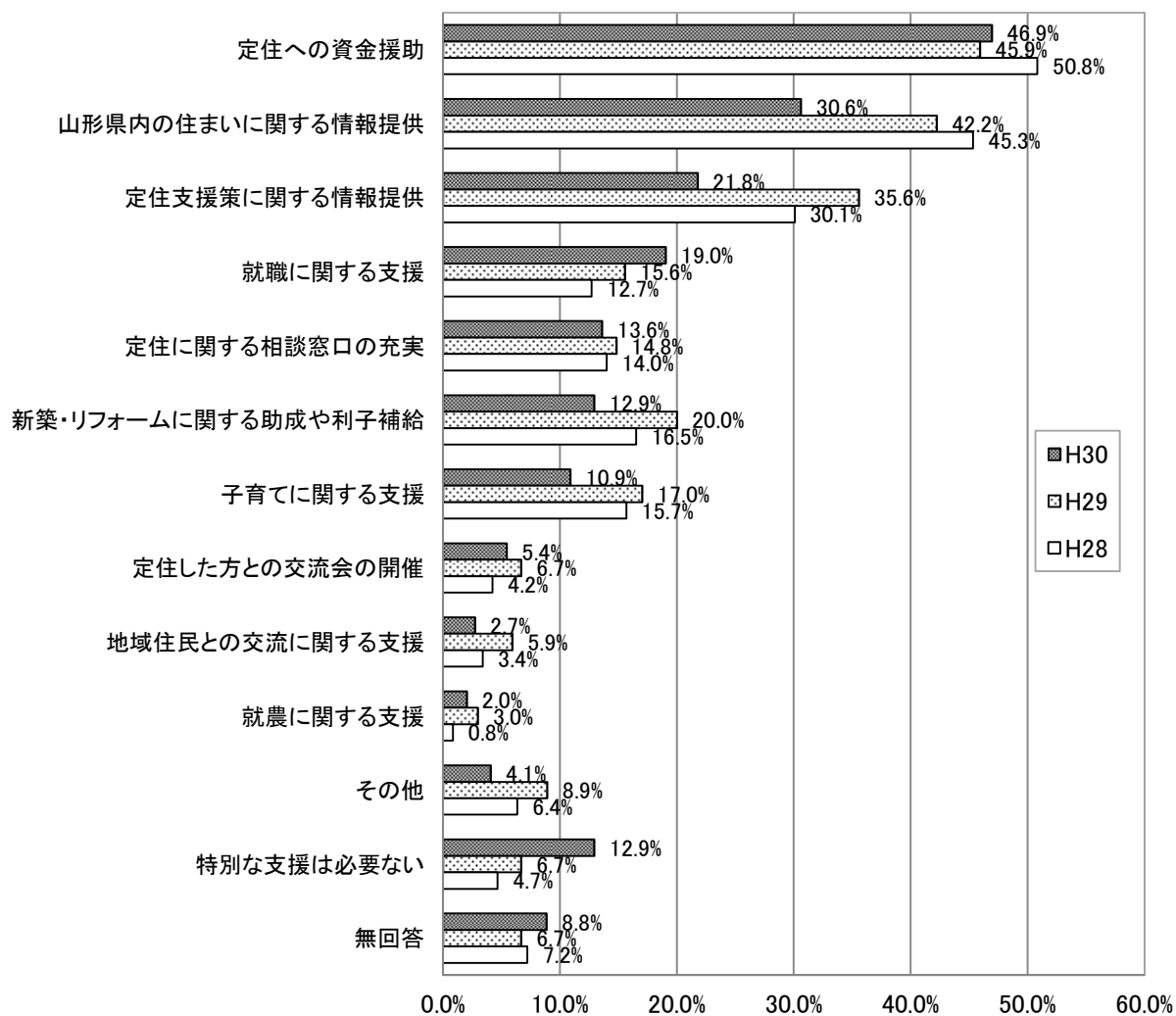


「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の希望する住居



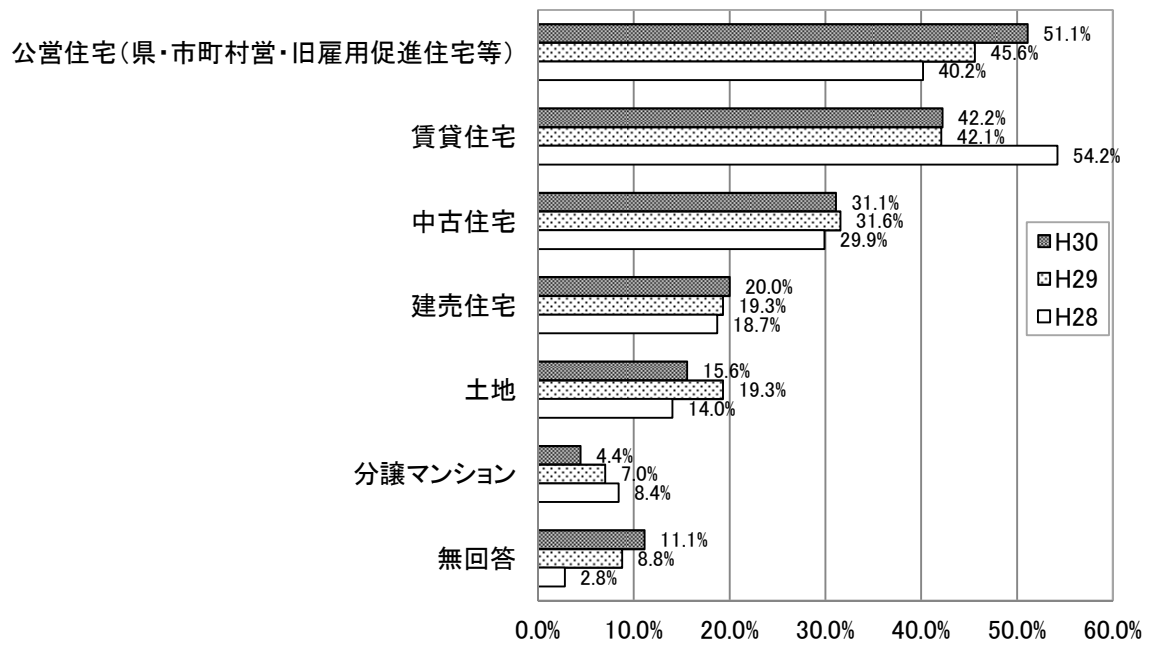
3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方が希望する住居の形態は、「持ち家(戸建)」が34.7%と最も多く、次いで「賃貸(アパート・マンション)」、「賃貸(戸建)」の順となっています。

「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の希望する支援(複数回答)



3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方の希望する支援は、「定住への資金援助」が46.9%と最も多く、次いで「山形県内の住まいに関する情報提供」、「定住支援策に関する情報提供」の順となっています。

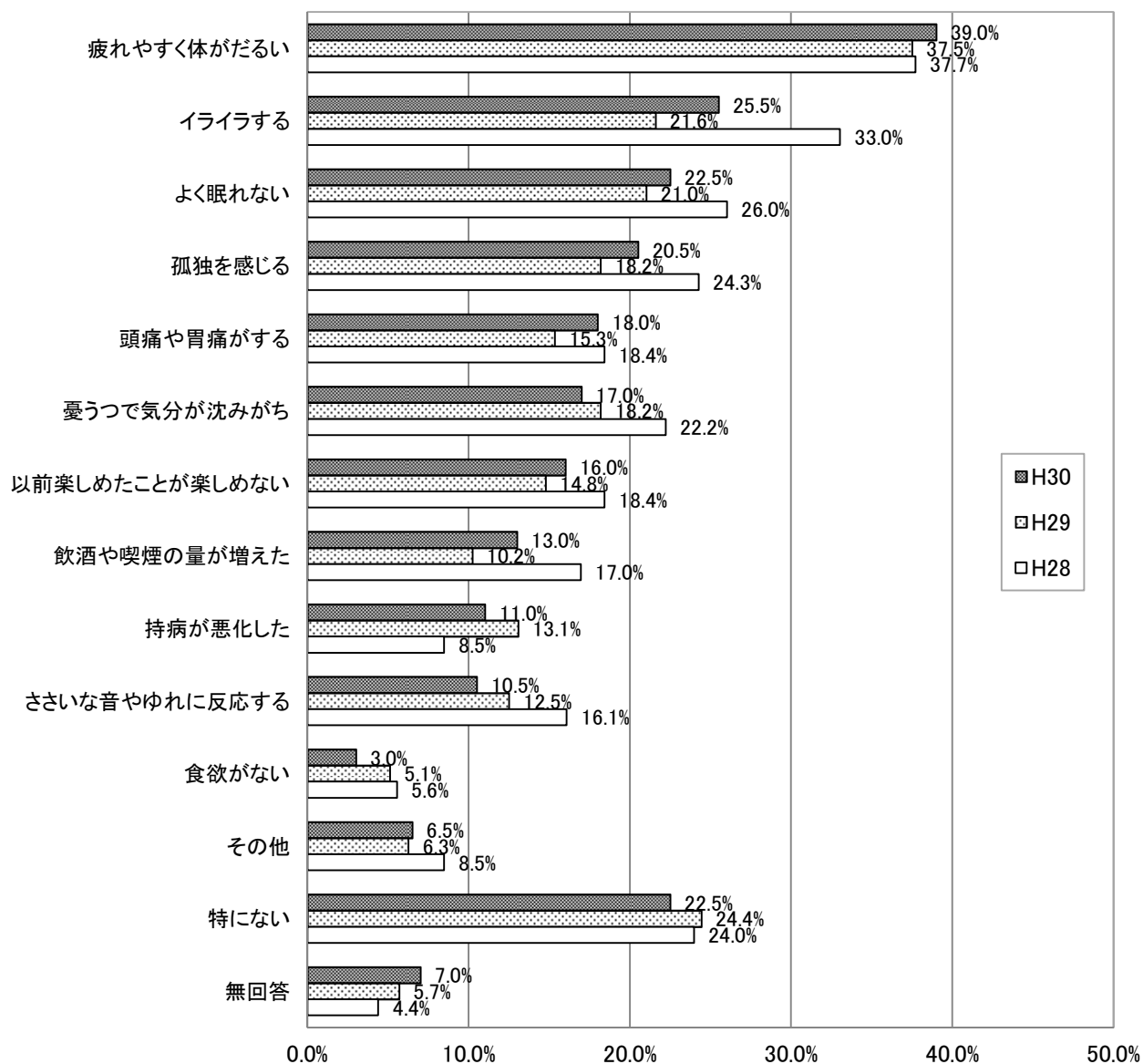
### 山形県内の住まいに関する必要な情報(複数回答)



上記回答で「山形県内の住まいに関する情報提供」で「※必要な情報は何か」の問いに対する回答は「公営住宅」が51.1%と最も多く、次いで「賃貸住宅」、「中古住宅」となっています。

#### 4 心身の健康について (1) 心身の不調について

心身の不調について(複数回答)

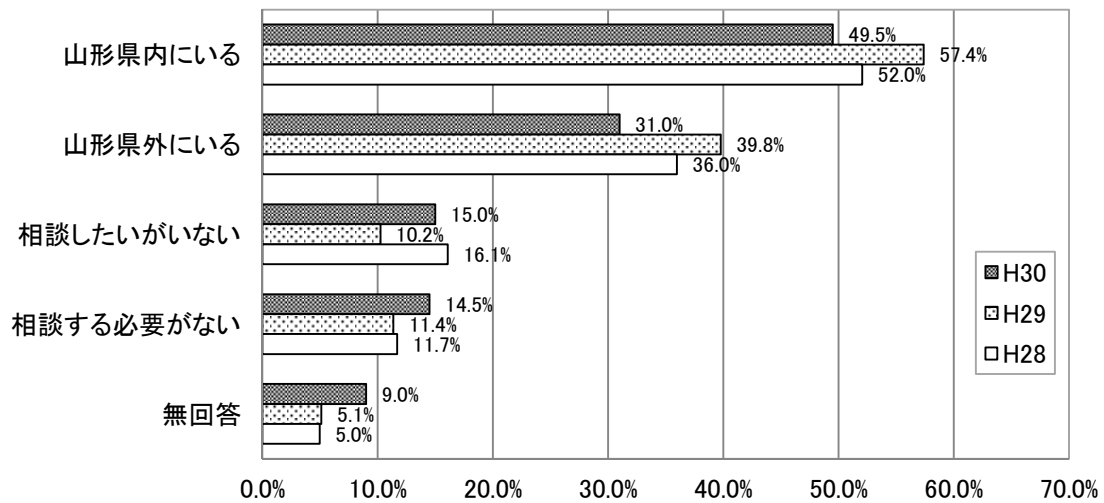


心身の不調については、「疲れやすく体がだるい」が39.0%で最も多く、次いで「イライラする」、「よく眠れない」の順となっています。

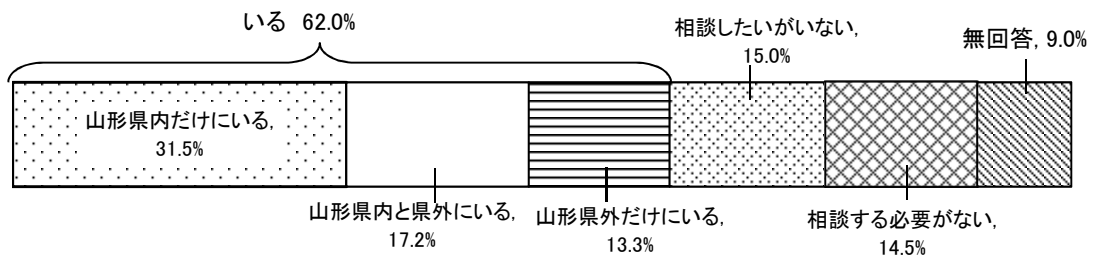
「特にない」という方の割合は22.5%にとどまっており、7割以上の方は心身に何らかの不調を抱えています。

(2) 健康の相談相手について

心身の健康について相談する相手(複数回答)



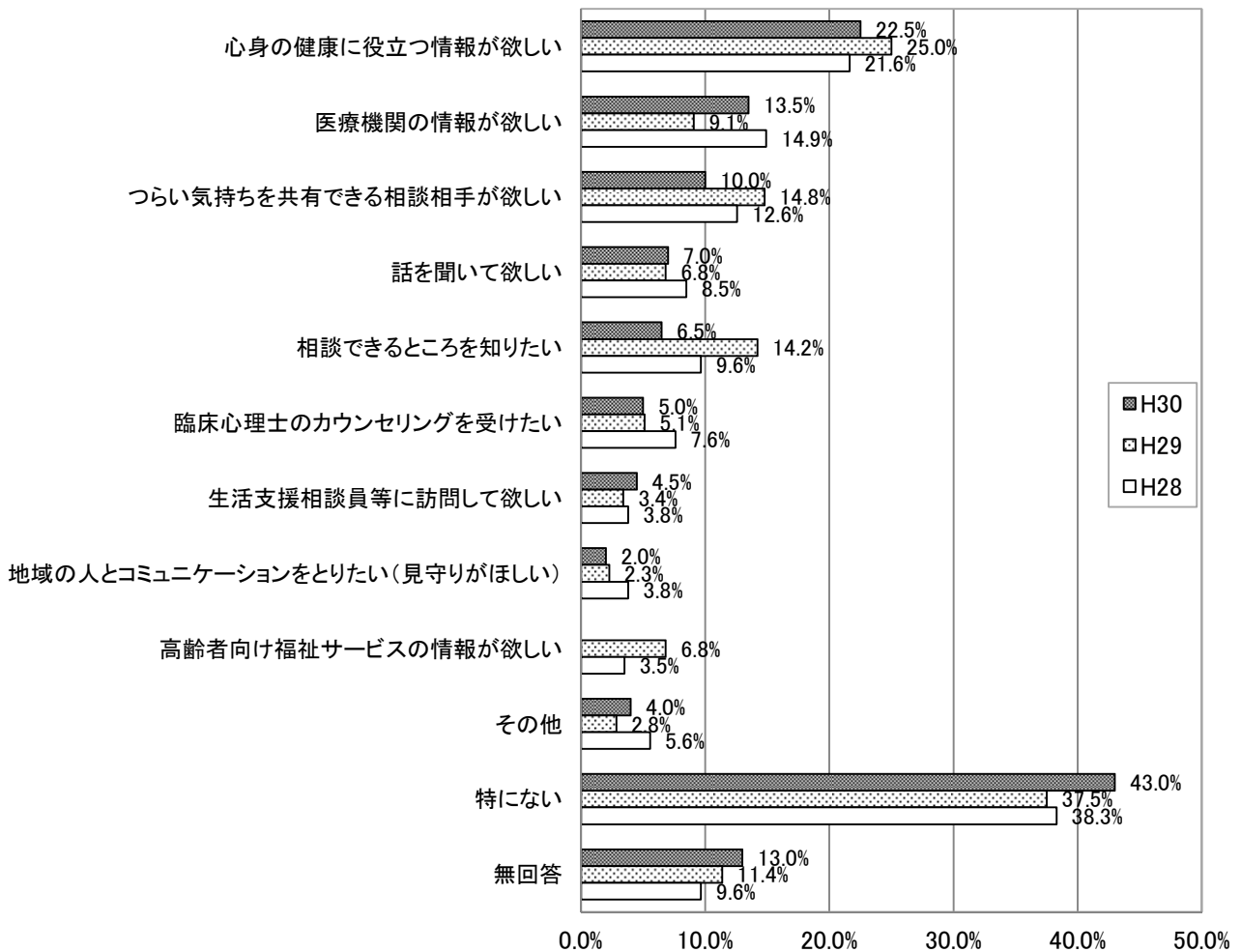
相談相手の有無・相談相手



心身の健康について、相談する相手がいるかをたずねたところ、49.5%が「山形県内にいる」、31.0%が「山形県外にいる」となっており、山形県内外含め「いる」と答えた方は全体の62.0%でした。

### (3) 心身の健康に関する要望について

#### 心身の健康に関して望むこと(複数回答)

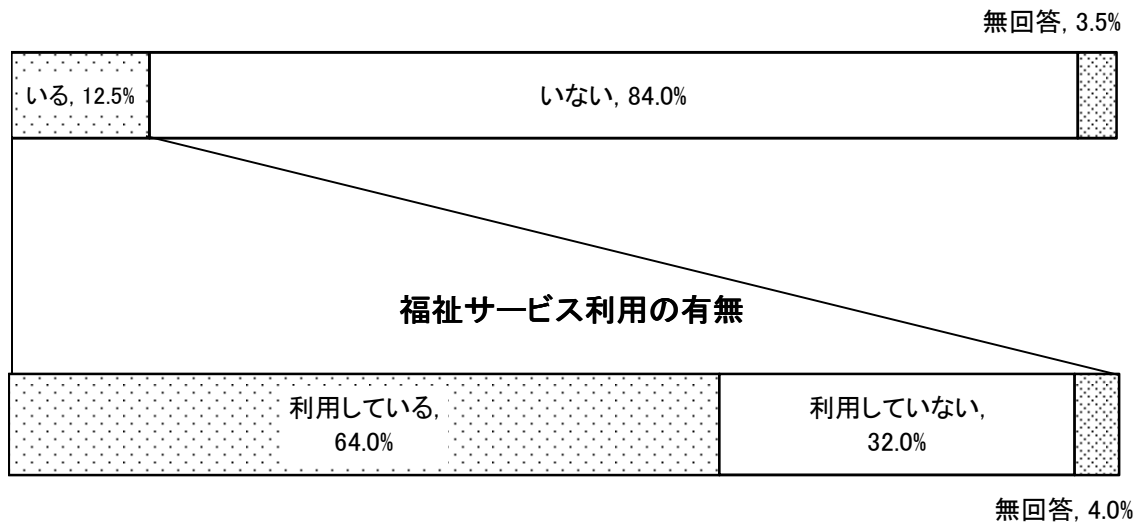


心身の健康に関して望むことは、「心身の健康に役立つ情報が欲しい」が 22.5%と最も多く、次いで「医療機関の情報が欲しい」、「つらい気持ちを共有できる相談相手が欲しい」の順となっています。

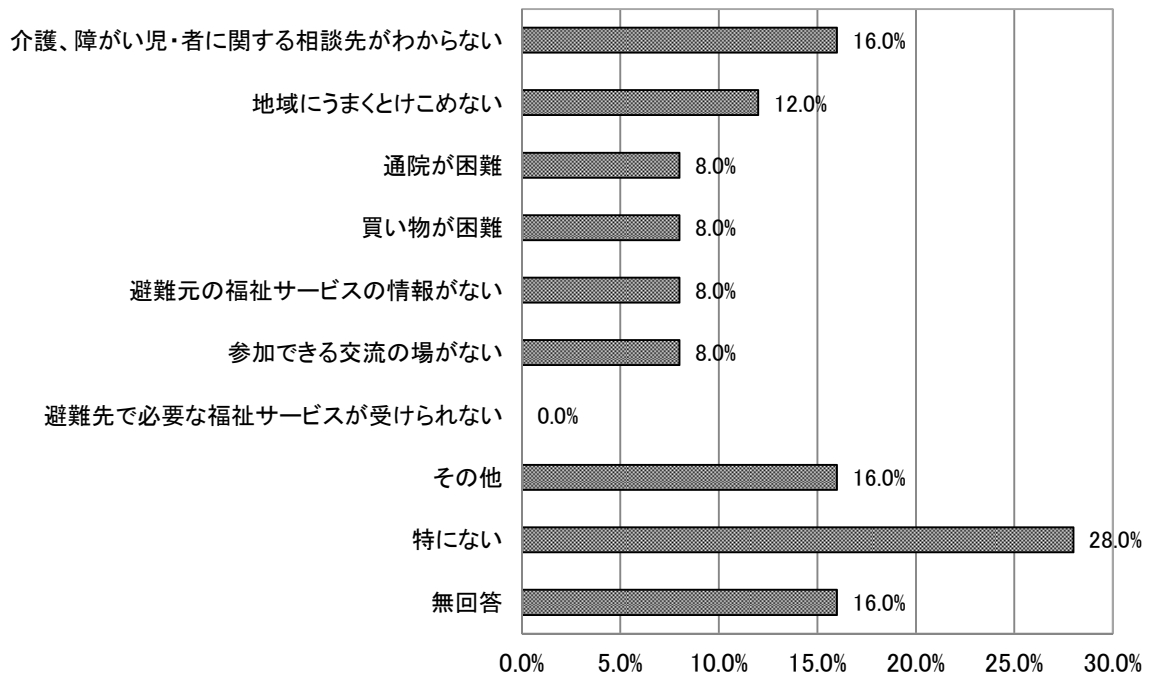
※「高齢者向け福祉サービスの情報が欲しい」について、平成 30 年度は「福祉サービスの利用状況」及び「相談支援機関」の項目に集約。

(4) 福祉サービスの利用状況及び困っていることについて

福祉サービスが必要な方



福祉サービスが必要な方の困っていること、不安に思っていること  
(複数回答)



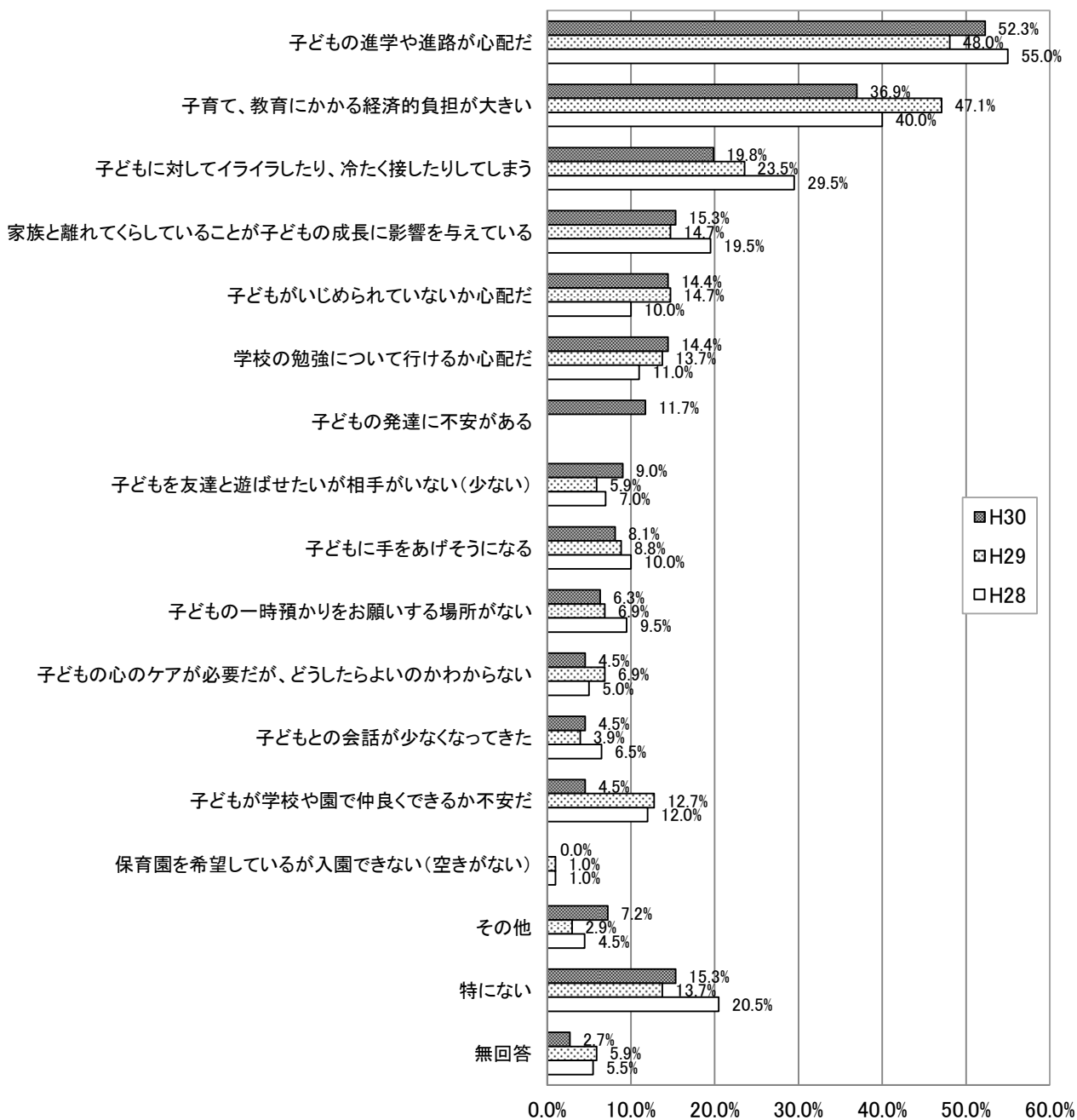
家族に福祉サービスが必要な方がいるのは全体の12.5%で、そのうちサービスを利用しているのは64.0%でした。困っていることや不安に思っていることは、「介護、障がい児・者に関する相談先がわからない」が16.0%と最も多く、次いで「地域にうまくとけこめない」となっています。

※平成30年度の新規項目

## 5 教育や子育てについて（設問の対象者は18歳以下の子どもがいる方）

### （1）教育や子育てで困っていることについて

#### 教育や子育てで困っていること（複数回答）



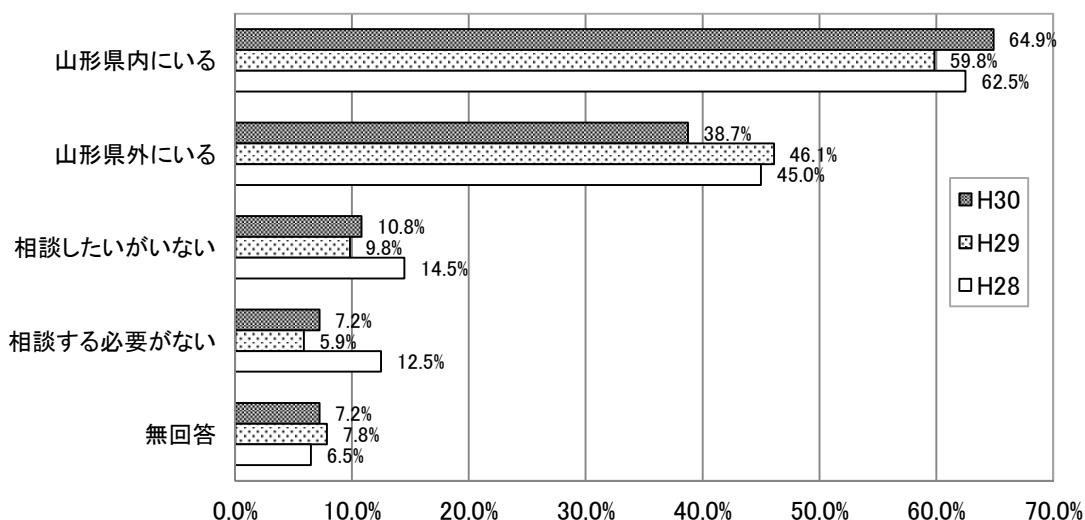
教育や子育てで困っていることは、「子どもの進学や進路が心配だ」が52.3%で最も多く、次いで「子育て、教育にかかる経済的負担が大きい」が36.9%と多くなっています。

※「子どもの発達に不安がある」は平成30年度の新規項目

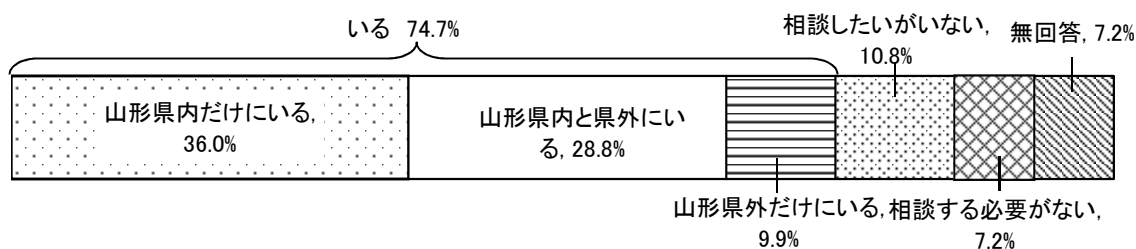


(2) 子育ての相談相手について

子育てについて相談する相手(複数回答)

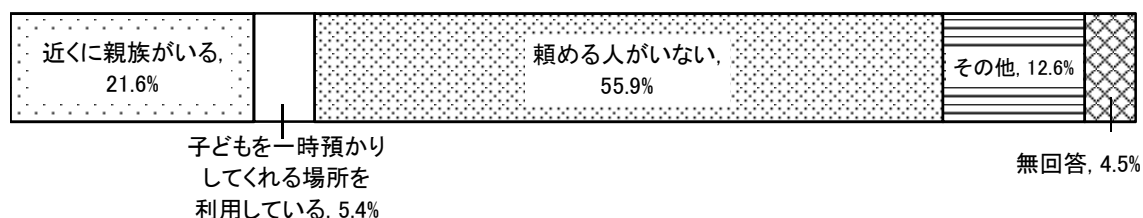


相談相手の有無・相談相手



子育てについて、相談する相手がいるかをたずねたところ、64.9%が「山形県内にいる」、38.7%が「山形県外にいる」となっており、山形県内外含め「いる」と答えた方は全体の74.7%でした。

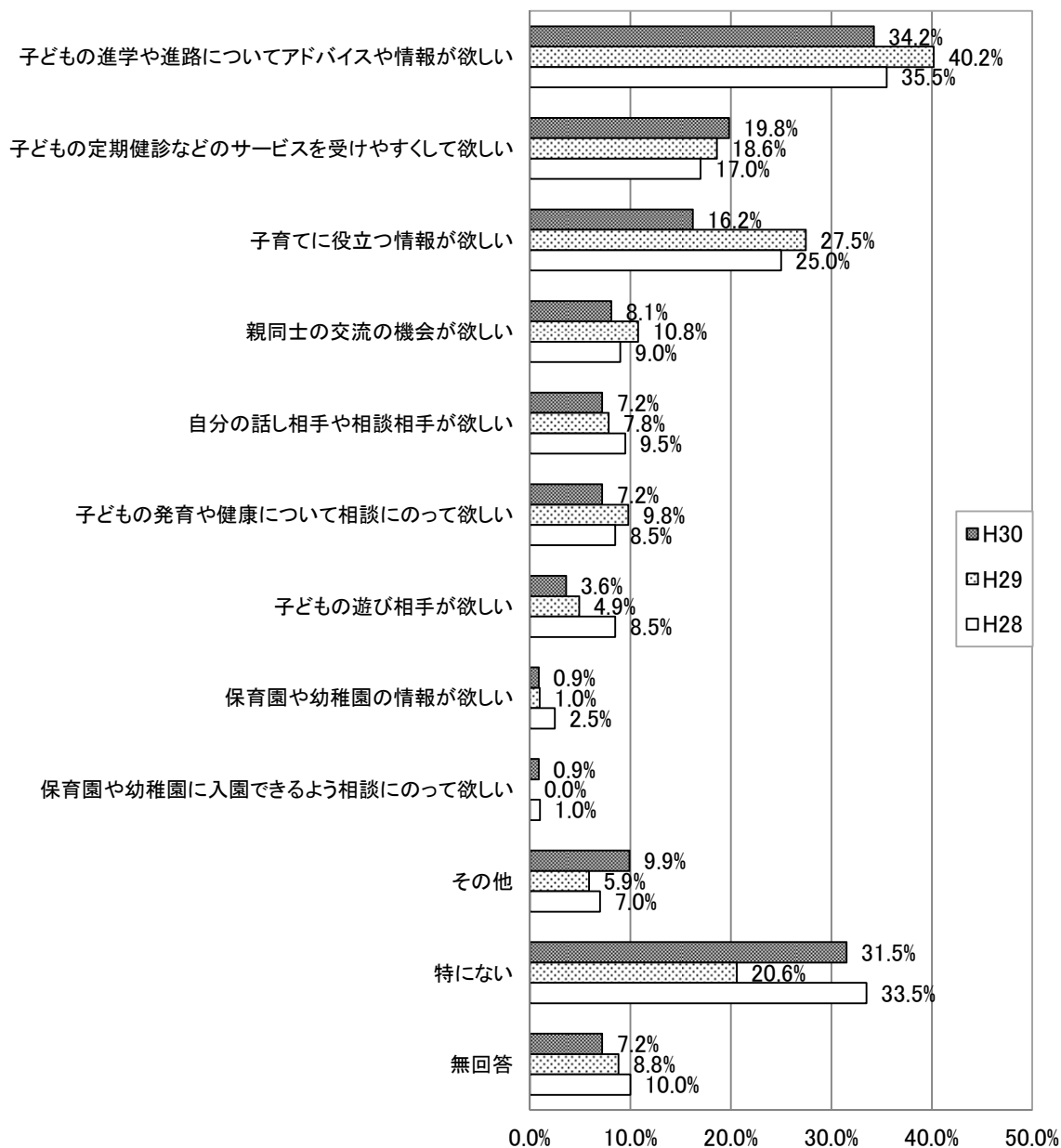
ご自身が困った時にお子さんを頼める方はいますか



お子さんを頼める方がいるかをたずねたところ、55.9%の方が「頼める人がいない」となっています。また、「子どもを一時預かりしてくれる場所を利用している」が5.4%にとどまっています。

### (3) 教育や子育てに関する要望について

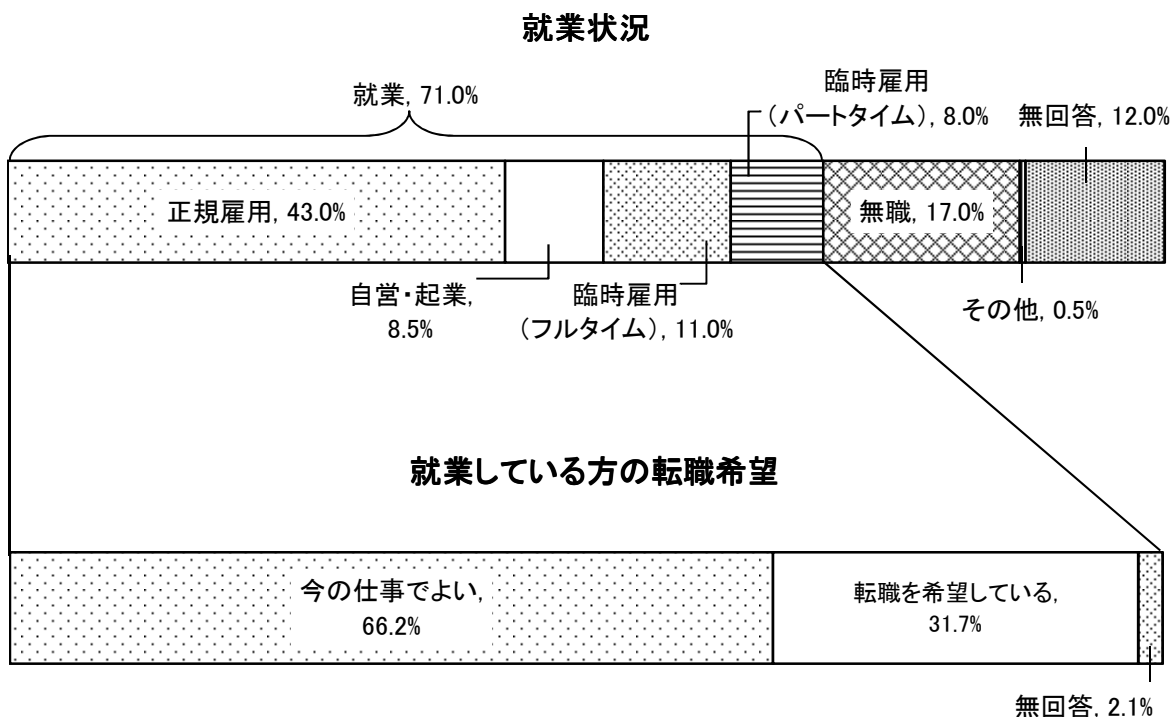
#### 教育や子育てに関する要望(複数回答)



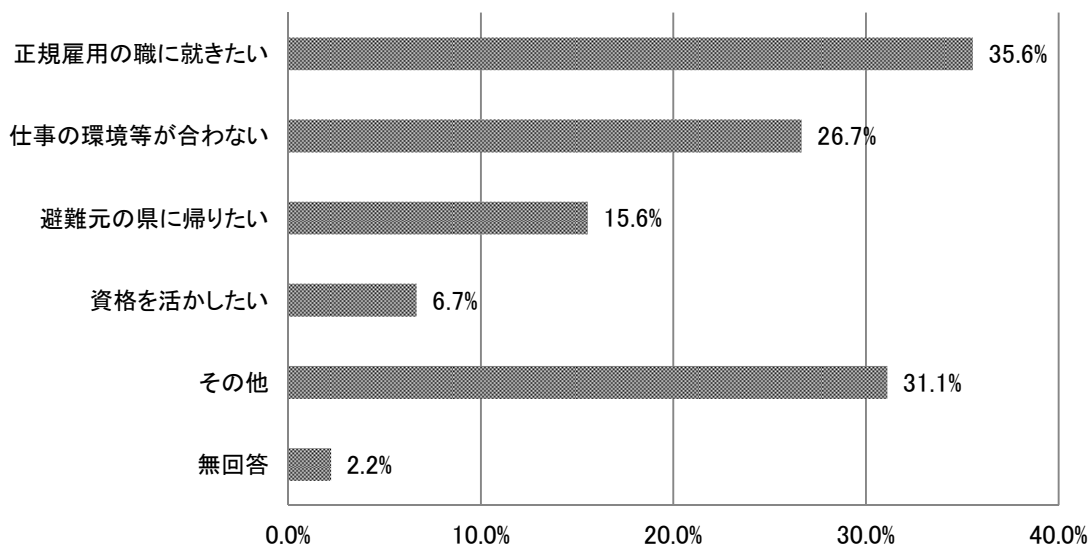
教育や子育てに関して望むことは、「子どもの進学や進路についてアドバイスや情報がほしい」が34.2%と最も多く、次いで「子どもの定期健診などのサービスを受けやすくして欲しい」、「子育てに役立つ情報が欲しい」の順となっています。

## 6 就業・就職について

### (1) 就業状況、転職・就職の希望について

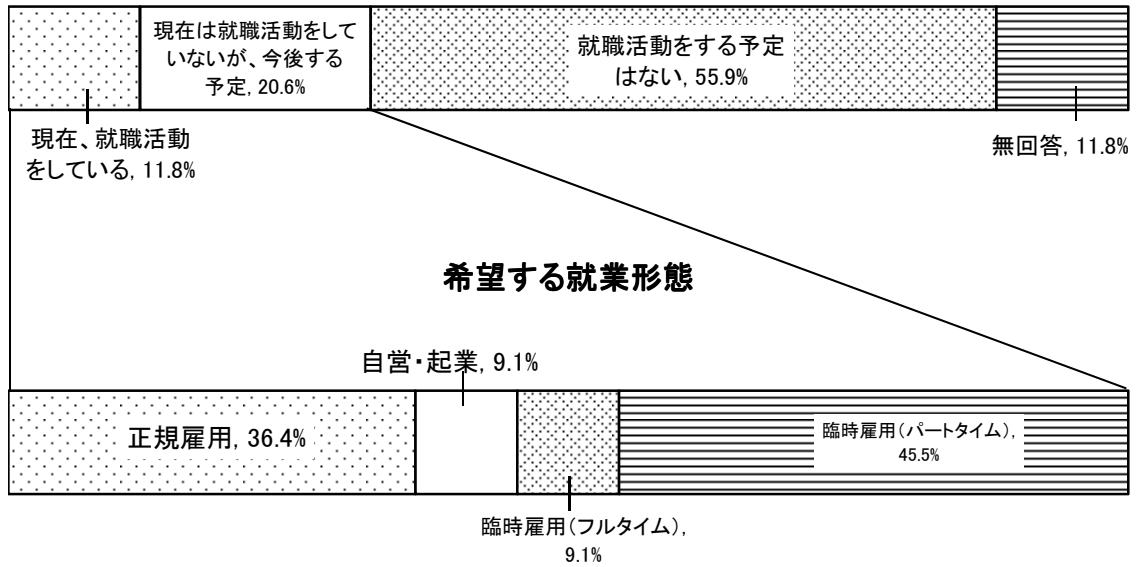


### 転職を希望する理由(複数回答)



主に生計を支えている方の就業状況は、全体の 71.0%が現在就業しており、無職の方は 17.0%となっております。現在就業している方で「転職を希望する」と答えた方は、31.7% となっております、その理由としては「正規雇用の職に就きたい」35.6%と最も多く、次いで「仕事の環境等が合わない」、「避難元の県に帰りたい」となっています。

## 無職の方の就職活動



「現在、就職活動をしている」または「今後する予定」と答えた方は、32.4%となっており、その就業形態は「臨時雇用（パートタイム）」45.5%と最も多く、次いで「正規雇用」、「自営・起業」、「臨時雇用（フルタイム）」となっています。

また、「就職活動をする予定はない」と答えた方は55.9%となっています。

(2) 就職に関する相談窓口について

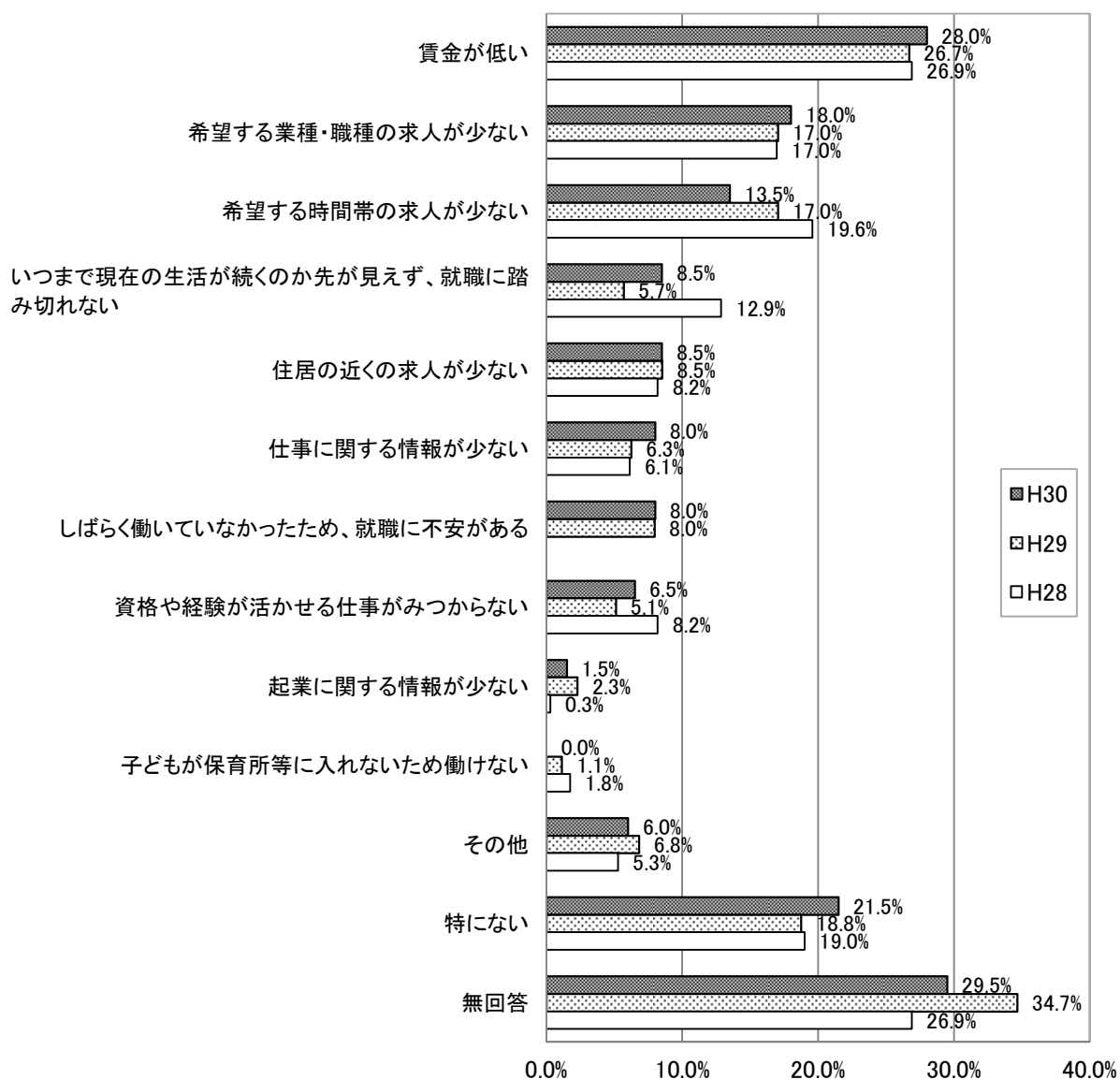
	知っているか		「知っている」の場合の相談の有無 (複数回答)			
	知っている, 54.5%	知っている 以外, 45.5%	ある, 16.7%	ない, 50.0%	その他, 16.7%	無回答, 16.7%
求職者総合支援センター(住まいや生活に関する相談)	知っている, 54.5%	知っている 以外, 45.5%	ある, 16.7%	ない, 50.0%	その他, 16.7%	無回答, 16.7%
トータル・ジョブサポート (生活相談、就職相談、 職業紹介)	知っている, 45.5%	知っている 以外, 54.5%	ない, 80.0%			その他, 20.0%
マザーズジョブサポート (女性の就職に関する 相談)	知っている, 45.5%	知っている 以外, 54.5%	ある, 40.0%	ない, 40.0%	必要が無い, 20.0%	

「求職者総合支援センター」を知っている方は54.5%で、そのうち16.7%の方が相談したことがあると答えています。また、「マザーズジョブサポート」は45.5%の方が知っており、40.0%の方が相談しています。

※平成30年度の新規項目

### (3) 県内の就職で困っていることについて

#### 山形県内の就職で困っていること(複数回答)

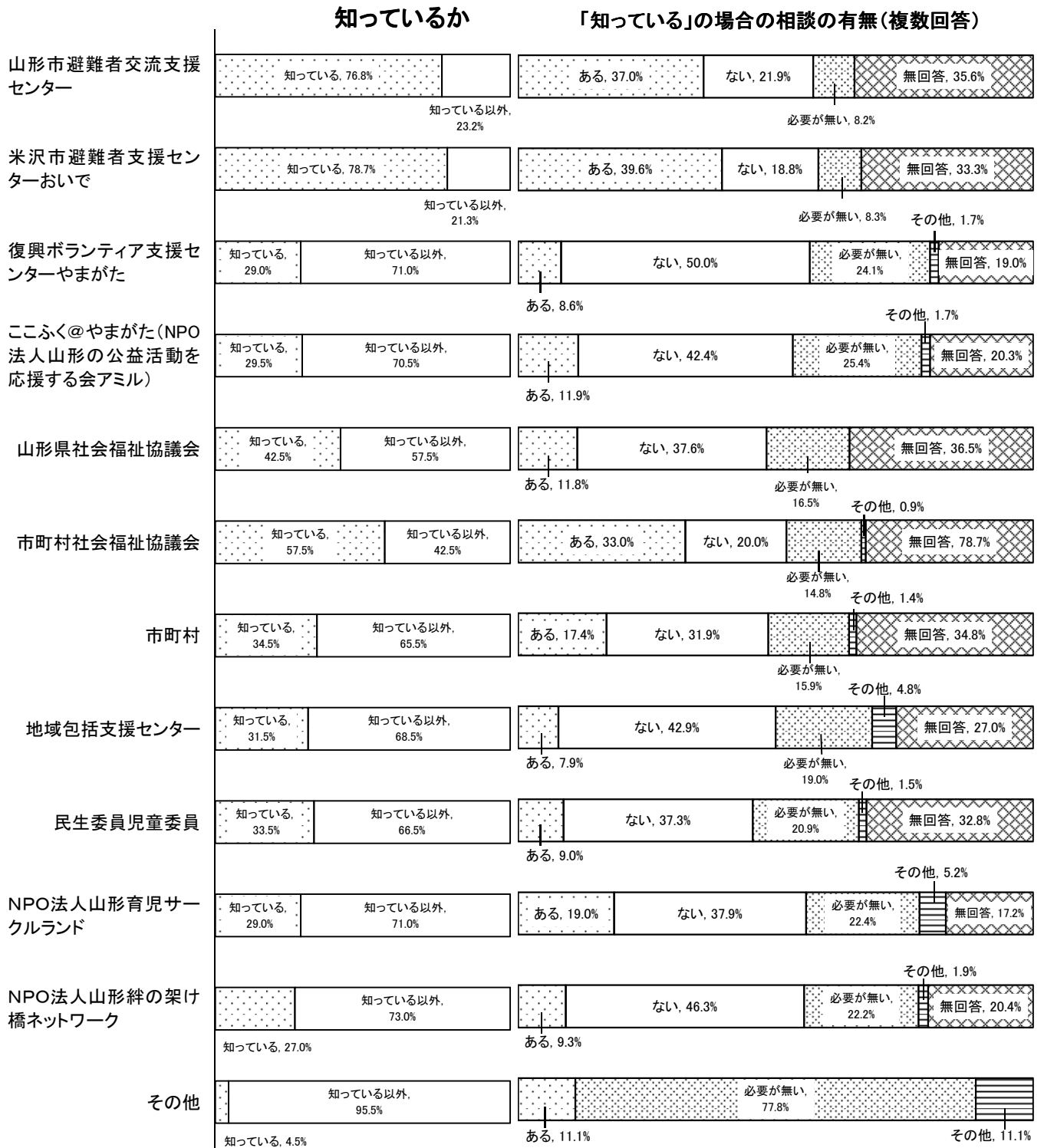


山形県内の就職で困っていることは、「賃金が低い」が 28.0%と最も多く、次いで「希望する業種・職種の求人が少ない」、「希望する時間帯の求人が少ない」の順となっています。

※「しばらく働いていなかったため、就職に不安がある」は平成 29 年度の新規項目

## 7 相談支援機関と相談交流について

### (1) 相談支援機関の利用状況

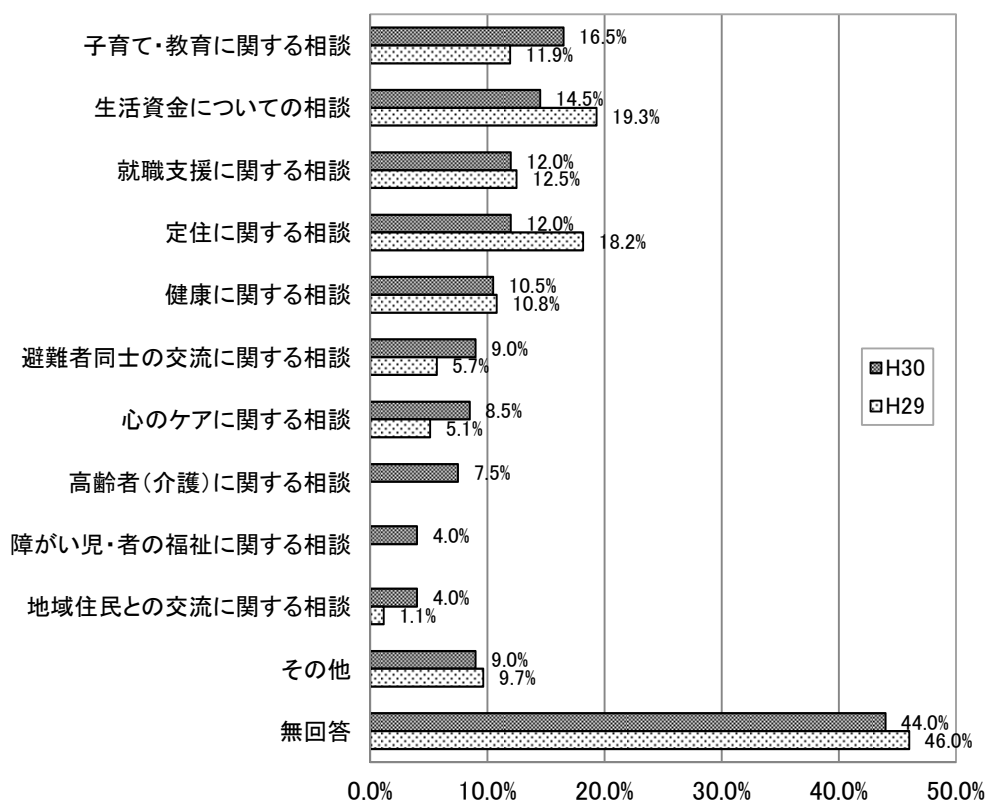


村山地域では、「山形市避難者交流支援センター」を知っている方が76.8%、置賜地域では、「米沢市避難者支援センターおいで」を知っている方が78.7%となっています。

市町村社会福祉協議会は、57.5%の方が知っており、そのうち33.0%の方が相談したことがあると答えています。

※「山形市避難者交流支援センター」の母数は村山地域、「米沢市避難者支援センターおいで」の母数は置賜地域

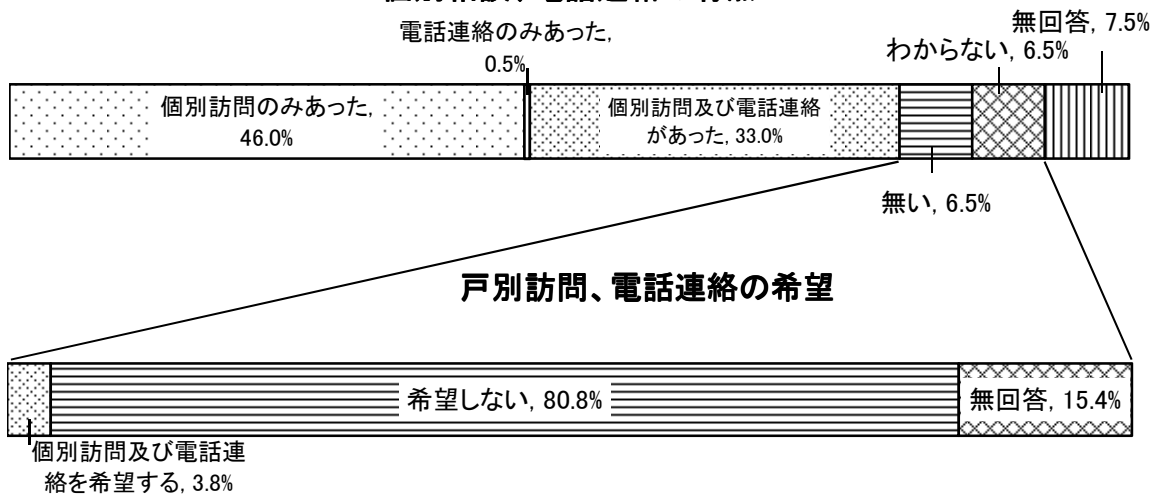
## 相談支援機関に対し相談したいこと(複数回答)



相談支援機関に対し相談したいことは、「子育て・教育に関する相談」が16.5%と最も多く、次いで「生活資金に関する相談」、「就職支援に関する相談」「定住に関する相談」の順となっています。

※「高齢者(介護)に関する相談」、「障がい児・者の福祉に関する相談」は平成30年度の新規項目

## 個別相談、電話連絡の有無



戸別相談や電話連絡があったと答えた方は全体の79.5%となっています。訪問や連絡が「無い」または「わからない」と答えた方のうち「個別訪問及び電話連絡を希望する」は3.8%となっています。



## (2) 相談交流の参加状況

### 相談交流会やサロンなどのイベント参加の有無

参加したことがある, 39.0%	参加したことがない, 44.5%	無回答, 16.5%
---------------------	---------------------	------------

相談交流会やサロンなどのイベントに「参加したことがある」が 39.0%、「参加したことがない」が 44.5%と約半数の方は「参加したことがない」と答えています。

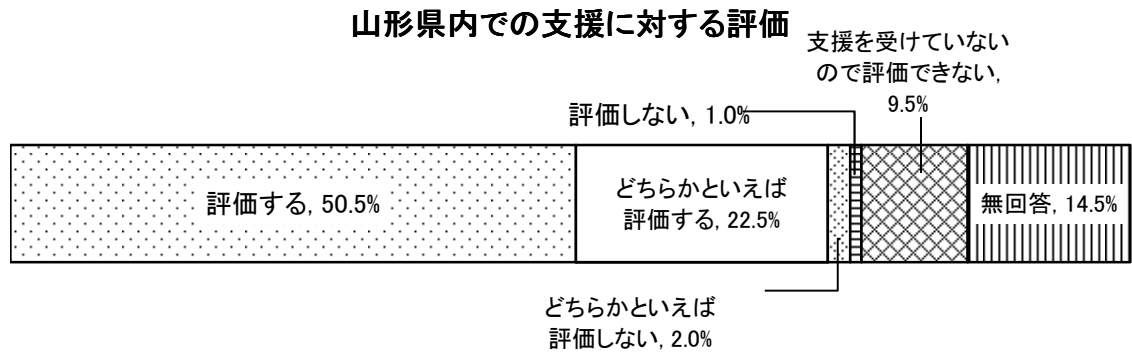
## (3) 今後、参加したいイベントや相談交流の場（自由記入）

- ・ 託児つきの母親の会があれば（土日）。
- ・ 健康づくり教室があれば参加したい。
- ・ 子供と一緒に参加できるイベントがほしい。
- ・ 毎週1回は集まっているいろいろな事をしていたが、今は月1回になったので淋しく思う。
- ・ 相談会等、情報があれば、可能な限り参加している。チラシ等で、情報を伝えてくれれば助かる。
- ・ 色々参加したいが、仕事や家事、育児の関係で参加できないことが多い。基本、色々な体験、相談をしたい。

などの記載がありました。

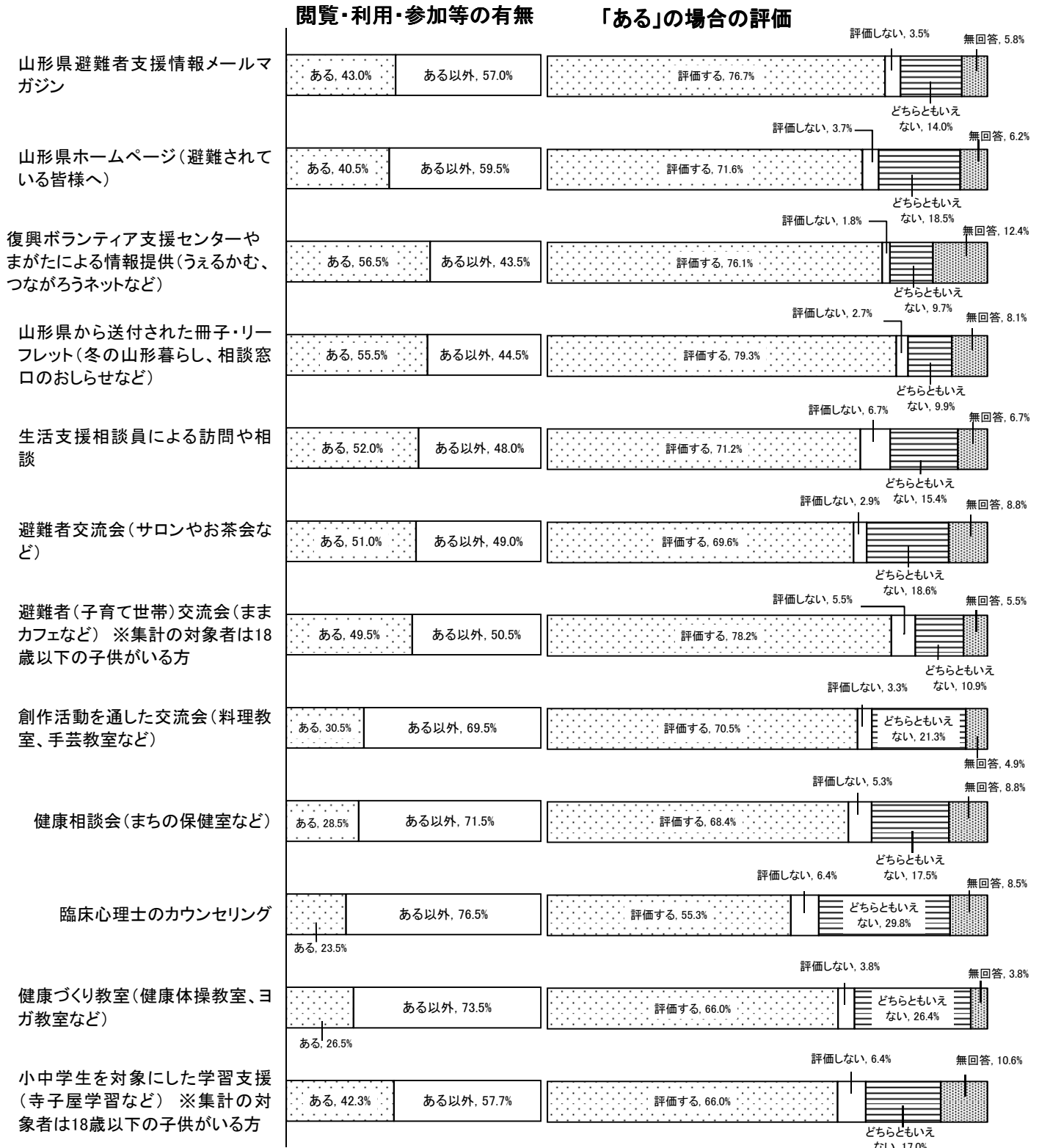
## 8 県内で行っている避難者支援事業について

### (1) 山形県内での支援に対する評価



避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体）についてどのように感じているかの問いに、「評価する」が50.5%、「どちらかといえば評価する」が22.5%と7割以上の方に評価されています。

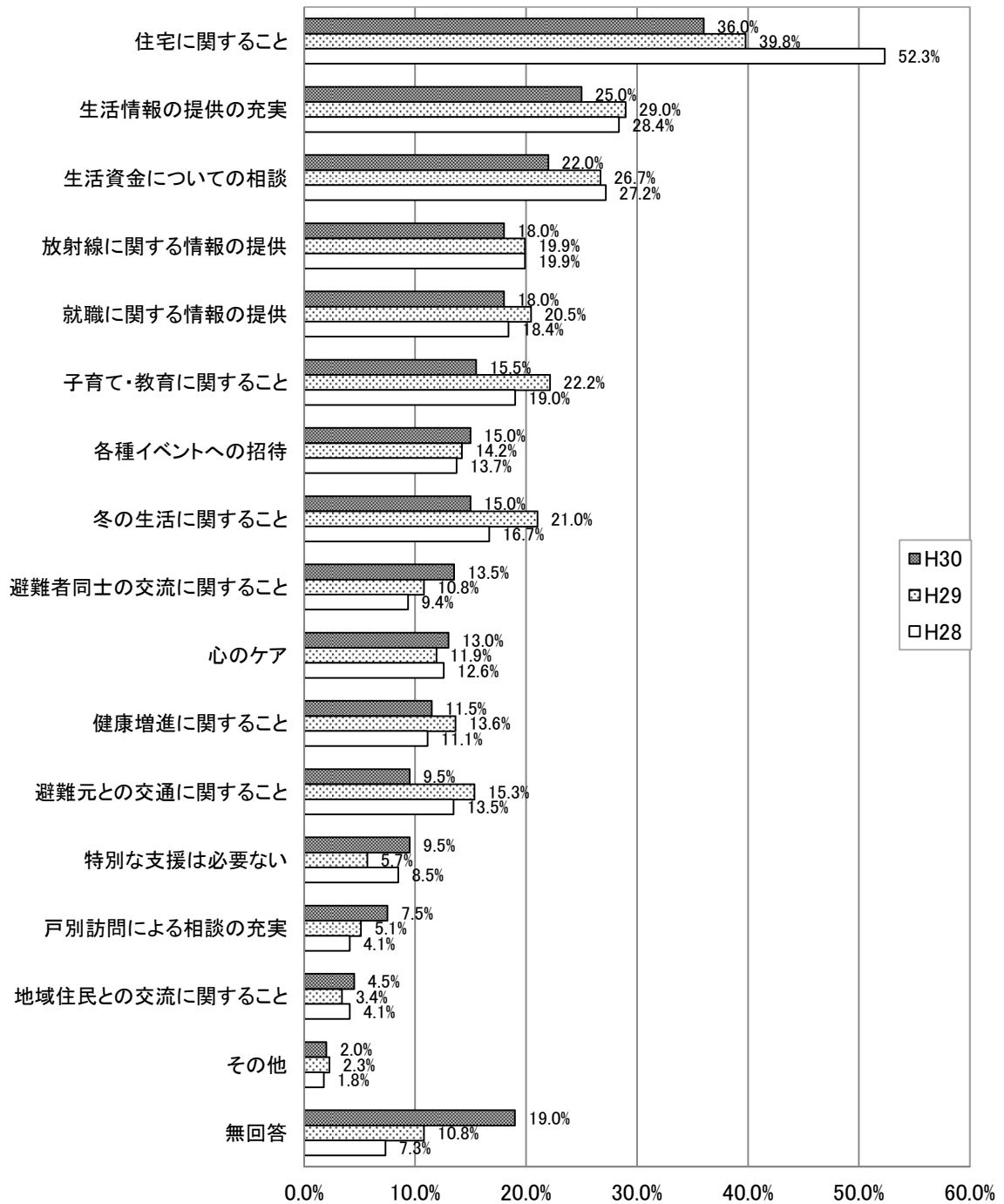
## (2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について



避難者支援事業別に利用状況を見ると、「復興ボランティア支援センターやまがたによる情報」の閲覧が56.5%と最も多く、次いで、「山形県から送付された冊子・リーフレット」55.5%、「生活支援相談員による訪問や相談」52.0%、「避難者交流会」51.0%と半数を超える方が利用、参加されており、7割以上の方が「評価する」と答えています。

(3) 県内での避難者への支援として期待するもの

避難者への支援として期待するもの(複数回答)



山形県内の避難者への支援として期待するものは、「住宅に関すること」が依然 36.0%と最も多いものの、昨年度より 3.8 ポイント減少しております。

次いで「生活情報の提供の充実」、「生活資金についての相談」の順となっています。

#### (4) 今後実施してほしい避難者支援事業（自由記入）

- ・福祉や教育に関する情報がほしい。
- ・放射線の影響についての情報があるとよい。
- ・借上げ住宅にかわる住宅支援・情報提供がほしい。
- ・定住を希望している者への支援があるとよい。
- ・県や市町村から案内される情報誌などは今後も継続してほしい。
- ・支援者が変わらず担当でいてくれることで安心できている。今後も継続してほしい。
- ・交流の場がほしい。

などの声が多くありました。

その他、次のような意見がありました。

- ・緊急・病気時に、子ども預かりサポートなどの支援がほしい。
- ・地域のために役立ちたいため、ボランティアの案内などがあればよい。
- ・交通機関の料金を安くして欲しい。

## 9 自由記入欄

### (1) 避難元に対し県から伝えてもらいたいこと

- ・家賃補助を延長してほしい。借上げ住宅にかわる支援をしてほしい。
- ・甲状腺検査をどこでも受けられるようなシステムにしてほしい。
- ・放射性物質の検査を継続し、引き続き公表してほしい。
- ・高速道路の無料化を延長してほしい。
- ・原発はまだまだ収束していない。県内外問わず支援を続けてほしい。
- ・企業を誘致して働き手を確保し、将来をみすえた町づくりを考えてほしい。
- ・家族が介護サービスを受けているが、帰還して同様のサービスが受けられるか不安。

### (2) 政府に対し県から伝えてもらいたいこと

- ・借上げ住宅にかわる住宅支援をしてほしい。
- ・避難先での定住支援をしてほしい。
- ・避難元と避難先で持ち家があるが、維持費に困っているため何らかの支援がほしい。
- ・医療費の無料化を継続してもらいたい。
- ・母子避難の高速道路無料化を継続してほしい。
- ・避難元が復興するまで、支援を継続してほしい。
- ・避難者の現状を理解してほしい。
- ・原発はやめるべき。再生可能エネルギーを増やしてほしい。

### (3) その他、避難生活で感じていること

- ・子どもの進学で悩むことが多いので、教育関係の相談窓口を増やしてほしい。
- ・住まいの情報を提供してほしい。
- ・生活が苦しい。
- ・避難元との、こころの距離を感じる。
- ・雪が多くて大変。雪の日の運転に不安を感じる。
- ・公共交通機関の利用などに不安がある。
- ・いずれ自立していかなければ、という思いもあるが、中には、まだ支援を必要とする避難者もいると思う。もうしばらく支援を続けてほしい。
- ・少しずつ住民との交流ができるようになってきた。今後も様々な行事に参加していこうと思う。
- ・十分な支援をもらった。避難者登録を解除し、自立し、頑張ろうと思う。

その他、「山形県にはさまざまな支援をもらって感謝している」との声を、多数いただきました。



## 2 山形での生活について

問 2-1 今の生活で困っていること、不安なことは何ですか。最も困っているものから順にお答えください。(5つまで)

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

1. 生活資金のこと
2. 仕事のこと
3. 住まいのこと
4. 自分や家族の心の健康
5. 自分や家族の身体の健康
6. 育児・子育てのこと
7. 教育のこと
8. 困りごとの相談相手がいないこと
9. 生活に関する情報の入手のこと
10. 避難元の情報が入らないこと
11. 家族、友人など人間関係のこと
12. 山形県での冬（雪）の生活のこと
13. 地域にうまくとけこめないこと
14. 放射線の影響のこと
15. 残してきた家や財産のこと
16. 地元の家族と過ごす時間が少ないこと
17. 避難生活の先行きが見えないこと
18. 地元との交通に関すること
19. 避難先で必要な行政サービスが受けられないこと  
(内容： )
20. その他 ( )
21. 特になし

問 2-2 世帯の生活資金はどこから得ていますか。(あてはまるもの3つまで回答)

1. 避難している方の給料や賃金
2. 避難元で働いている家族の給料や仕送り
3. 年金
4. 児童手当・児童扶養手当等の各種手当
5. 雇用保険の失業給付等
6. 貯金
7. 生活保護
8. 親戚・知人からの援助
9. 東京電力からの損害賠償金
10. その他 (具体的に )

問 2-3 避難者支援に関する情報を何から入手していますか。(複数回答可)

1. 行政機関 (県・市町村) からののお知らせ (避難元を含む)
2. 社会福祉協議会 (生活支援相談員) からののお知らせ
3. 支援団体等からののお知らせ
4. 避難者支援センターの窓口
5. 携帯電話、スマートフォン、タブレット等
6. パソコン
7. 友人、知人
8. テレビ
9. ラジオ
10. 新聞
11. その他 ( )
12. 入手する手段がない

問 2-4 避難者支援に関する情報で希望する内容は何か。(複数回答可)

1. 住宅に関すること
2. 仕事に関すること
3. 健康に関すること
4. 教育や子育てに関すること
5. 交流会に関すること
6. 避難元の復興状況
7. 避難元の行政情報
8. 山形県内の生活情報
9. 山形県内のイベント情報
10. その他 ( )



### 3 今後の生活について

問 3-1 今後の予定についてお答えください。(最も当てはまるもの1つを回答)

1. 避難元の県に戻って生活したい
2. もうしばらく山形県で生活したい
3. 山形県に定住したい
4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい
5. 今後どこで生活するか未定である

問 3-2① 問 3-1 で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方にお聞きします。今後山形県内での生活はいつまでと考えていますか。(最も当てはまるもの1つを回答)

1. 避難指示が解除されるまで
2. 除染が終了するまで
3. 放射線の心配がなくなるまで
4. 避難元が復興するまで
5. 避難元の住居が復旧・確保できるまで
6. 避難元で仕事が見つかるまで
7. 借上げ住宅の提供が続く限り
8. 子供の入学、入園や卒業、卒園まで
9. その他 ( )
10. わからない、未定

問 3-2② 問 3-1 で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「5. 今後どこで生活するか未定である」と答えた方にお聞きします。避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なことは何ですか。(複数回答可)

1. 生活資金のこと
2. 仕事のこと
3. 住まいのこと
4. 自分や家族の心の健康
5. 自分や家族の身体の健康
6. 育児・子育てのこと
7. 教育のこと
8. 困りごとの相談相手がいないこと
9. 生活に関する情報の入手のこと
10. 避難元の情報が入らないこと
11. 家族、友人など人間関係のこと
12. 地域住民との人間関係のこと
13. 放射線の影響のこと
14. 先行きが見えないこと
15. その他 ( )
16. 特にない

問 3-3① 問 3-1 で「2. もうしばらく山形県で生活したい」、「3. 山形県に定住したい」と答えた方は、どのような理由からですか。(複数回答可)

1. 避難元に近いため
2. 放射線の心配が少ないため
3. 山形県が気に入ったため (内容 : )
4. 家族の中に山形県出身者がいるため
5. 親類・知人がいるため
6. 就職したため
7. 子どもが就学したため
8. 知り合いが増えたため
9. その他 ( )
10. 特にない

問 3-3② 問 3-1 で「**2.** もうしばらく山形県で生活したい」、「**3.** 山形県に定住したい」と答えた方は、どのような住居を希望しますか。(最も希望するもの1つ)

1. 持ち家(戸建)
2. 持ち家(分譲マンション)
3. 賃貸(戸建)
4. 賃貸(アパート・マンション)
5. 県営住宅
6. 市町村営住宅
7. 旧雇用促進住宅
8. その他 ( )

問 3-3③ 問 3-1 で「**2.** もうしばらく山形県で生活したい」、「**3.** 山形県に定住したい」と答えた方は、今後どのような支援を希望しますか。(複数回答可)

1. 定住支援策に関する情報提供
  2. 定住に関する相談窓口の充実
  3. 定住した方との交流会の開催
  4. 定住への資金援助
  5. 新築・リフォームに関する助成や利子補給
  6. 山形県内の住まいに関する情報提供
- ※必要な情報は何ですか： a. 土地 b. 建売住宅 c. 中古住宅 d. 分譲マンション  
e. 賃貸住宅 f. 公営住宅(県・市町村営・旧雇用促進住宅等)
7. 地域住民との交流に関する支援
  8. 子育てに関する支援
  9. 就職に関する支援
  10. 就農に関する支援
  11. その他 ( )
  12. 特別な支援は必要ない

## 4 心身の健康について

問 4-1 ご自身や同居のご家族・同居者の中で、現在、心身の不調がありますか。(複数回答可)

1. 食欲がない
2. 疲れやすく体がだるい
3. よく眠れない
4. 孤独を感じる
5. 飲酒や喫煙の量が増えた
6. 憂うつで気分が沈みがち
7. ささいな音やゆれに反応する
8. 以前楽しめたことが楽しめない
9. イライラする
10. 持病が悪化した
11. 頭痛や胃痛がする
12. その他 ( )
13. 特にない

問 4-2 心身の健康について、相談する相手はいますか。(複数回答可)

1. 山形県外にいる
2. 山形県内にいる
3. 相談したいがいない
4. 相談する必要がない

問 4-3 心身の健康に関して望むことは何ですか。(複数回答可)

1. 心身の健康に役立つ情報が欲しい
2. 相談できるところを知りたい
3. 話を聞いて欲しい
4. つらい気持ちを共有できる相談相手が欲しい
5. 臨床心理士のカウンセリングを受けたい
6. 生活支援相談員等に訪問して欲しい
7. 地域の人とコミュニケーションをとりたい (見守りがほしい)
8. 医療機関の情報が欲しい
9. その他 ( )
10. 特にない

問 4-4① ご自身や同居のご家族・同居者の中に福祉サービスが必要な方はいますか。

1. いる                      2. いない

問 4-4② 問 4-4①で「1. いる」と答えた方にお聞きします。その方は福祉サービスを利用していますか。

1. 利用している                      2. 利用していない

問 4-4③ 問 4-4①で「1. いる」と答えた方にお聞きします。現在、困っていること、不安に思っていることは何ですか。(複数回答可)

- 1. 通院が困難
- 2. 買い物が困難
- 3. 介護、障がい児・者に関する相談先がわからない
- 4. 避難先で必要な福祉サービスが受けられない  
(内容： )
- 5. 避難元の福祉サービスの情報がない  
(内容： )
- 6. 地域にうまくとけこめない
- 7. 参加できる交流の場がない
- 8. その他 ( )
- 9. 特にない

## 5 教育や子育てについて（18歳以下のお子さんがある世帯の方のみ回答してください）

問5-1 お子さんの教育や子育てに関して困っていること、不安に思っていることは何ですか。  
（複数回答可）

1. 保育園を希望しているが入園できない（空きがない）
2. 子供の一時預かりをお願いする場所がない
3. 子供の心のケアが必要だが、どうしたらよいかわからない
4. 子供に対してイライラしたり、冷たく接したりしてしまう
5. 子供に手をあげそうになる
6. 子供との会話が少なくなってきた
7. 子供を友達と遊ばせたいが相手がない（少ない）
8. 子育て、教育にかかる経済的負担が大きい
9. 家族と離れてくらしていることが子供の成長に影響を与えている
10. 子供が学校や園で仲良くできるか不安だ
11. 子供がいじめられていないか心配だ
12. 学校の勉強について行けるか心配だ
13. 子供の進学や進路が心配だ
14. 子供の発達に不安がある
15. その他（ )
16. 特にない

問5-2 教育や子育てに関して、相談する相手はいますか。（複数回答可）

1. 山形県外にいる
2. 山形県内（山形市を除く）にいる
3. 相談したいがいない
4. 相談する必要がない

問5-3 ご自身が困った時にお子さんを頼める方はいますか。

1. 近くに親族がいる
2. 子供を一時預かりしてくれる場所を利用している
3. 頼める人がいない
4. その他（ )

問5-4 お子さんの教育や子育てに関して望むことは何ですか。（複数回答可）

1. 子育てに役立つ情報が欲しい
2. 子供の遊び相手が欲しい
3. 自分の話し相手や相談相手が欲しい
4. 親同士の交流の機会が欲しい
5. 子供の発育や健康について相談にのって欲しい
6. 保育園や幼稚園の情報が欲しい
7. 保育園や幼稚園に入園できるよう相談にのって欲しい
8. 子供の定期健診などのサービスを受けやすくして欲しい
9. 子供の進学や進路についてアドバイスや情報が欲しい
10. その他（ )
11. 特にない

## 6 就業・就職について

問 6-1① 主に世帯の生計を支えている方の就業形態はどのような状況ですか。

1. 正規雇用                      2. 自営・起業                      3. 臨時雇用(フルタイム)  
4. 臨時雇用(パートタイム)      5. 無職                      6. その他 (                      )

問 6-1② 問 6-1①で「1. 正規雇用」「2. 自営・起業」「3. 臨時雇用(フルタイム)」「4. 臨時雇用(パートタイム)」「6. その他」と答えた方は、転職を希望していますか。

1. 今の仕事でよい  
2. 転職を希望している

問 6-1③ 問 6-1②で「2. 転職を希望している」と答えた方の理由は何ですか。(複数回答可)

1. 正規雇用の職に就きたい  
2. 資格を活かしたい  
3. 避難元の県に帰りたい  
4. 仕事の環境等が合わない  
5. その他 (                      )

問 6-1④ 問 6-1①で「5. 無職」と答えた方は、就職活動をしていますか。

1. 現在、就職活動をしている  
2. 現在は就職活動をしていないが、今後する予定  
3. 就職活動をする予定はない

問 6-1⑤ 問 6-1④で「1. 現在、就職活動をしている」「2. 現在は就職活動をしていないが、今後する予定」と答えた方は、どのような就業形態を希望していますか。

1. 正規雇用                      2. 自営・起業                      3. 臨時雇用(フルタイム)  
4. 臨時雇用(パートタイム)      5. その他 (                      )

問 6-1⑥ 問 6-1④で「1. 現在、就職活動をしている」「2. 現在は就職活動をしていないが、今後する予定」と答えた方にお聞きします。次にあげる相談窓口を知っていますか。また、実際に相談したことがありますか。

あてはまる箇所には○をつけてください。(複数回答可)

相談窓口	知っている	相談したことがある	相談したことがない	相談する必要がある	その他
求職者総合支援センター (住まいや生活に関する相談)					
トータル・ジョブサポート (生活相談、就職相談、職業紹介)					
マザーズジョブサポート (女性の就職に関する相談)					

問 6-2 山形県内の就職で困っていることは何ですか。(複数回答可)

1. 仕事に関する情報が少ない
2. 希望する業種・職種の求人が少ない
3. 子供が保育所等に入れなため働けない
4. 希望する時間帯の求人が少ない
5. いつまで現在の生活が続くのか先が見えず、就職に踏み切れない
6. 資格や経験が活かせる仕事が見つからない
7. 住居の近くの求人が少ない
8. 賃金が低い
9. 起業に関する情報が少ない
10. しばらく働いていなかったため、就職に不安がある
11. その他 ( )
12. 特にない

## 7 相談支援機関と相談交流について

問 7-1 山形県内にはさまざまな相談支援機関があります。

次にあげる相談支援機関を知っていますか。また、実際に相談したことがありますか。

あてはまる箇所には○をつけてください。(複数回答可)

相談支援機関	知っている	相談したことがある	相談したことがない	相談する必要が無い	その他
山形市避難者交流支援センター					
米沢市避難者支援センターおいで					
復興ボランティア支援センターやまがた					
ここふく@やまがた (NPO法人山形の公益活動を応援する会アミル)					
山形県社会福祉協議会					
市町村社会福祉協議会					
市 町 村					
地域包括支援センター					
民生委員児童委員					
NPO法人やまがた育児サークルランド					
NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワーク					
その他 ( )					

問 7-2 避難者支援に限らず、相談支援機関に相談したいことはありますか。(複数回答可)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 生活資金についての相談    | 2. 定住に関する相談        |
| 3. 就職支援に関する相談     | 4. 子育て・教育に関する相談    |
| 5. 健康に関する相談       | 6. 心のケアに関する相談      |
| 7. 高齢者(介護)に関する相談  | 8. 障がい児・者の福祉に関する相談 |
| 9. 地域住民との交流に関する相談 | 10. 避難者同士の交流に関する相談 |
| 11. その他 ( )       |                    |

問 7-3① 山形県では、避難されている方の悩みや困りごと相談に対応するため、市町村保健師、社会福祉協議会生活支援相談員及び民生委員児童委員等の個別訪問を実施しております。これまで個別訪問や電話連絡をもらったことはありますか。

- |                   |              |          |
|-------------------|--------------|----------|
| 1. 個別訪問のみあった      | 2. 電話連絡のみあった |          |
| 3. 個別訪問及び電話連絡があった | 4. 無い        | 5. わからない |



問 7-3② 問 7-3①で「**4. 無い**」「**5. わからない**」と答えた方にお尋ねします。今後、個別訪問や電話連絡を希望されますか。

- 1. 個別訪問のみ希望する**      **2. 電話連絡のみ希望する**  
**3. 個別訪問及び電話連絡を希望する**      **4. 希望しない**

※訪問や連絡を希望される方はお名前と連絡先をご記入ください。

お名前	
住所及び電話番号	住 所： 電 話：

問 7-4① 相談支援機関が実施する、地域の相談交流会やサロンなどのイベントに参加したことはありますか。

- 1. 参加したことがある**      **2. 参加したことがない**

問 7-4② 今後、参加したいイベントや相談交流の場などあればご記入ください。

--

## 8 県内で行っている避難者支援について

問 8-1 避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体等）についてどのように感じていますか。（最も当てはまるもの1つを回答）

1. 評価する
2. どちらかといえば評価する
3. どちらかといえば評価しない
4. 評価しない
5. 支援を受けていないので評価できない

問 8-2 山形県内では、現在さまざまな避難者支援事業を行っております。

次にあげる主な避難者支援事業について、見たり、利用したり、参加したことがあるものに○を付け、その評価について、右欄の該当する箇所にも○をつけてください。

事業名	見た、利用した、参加した	評価する	評価しない	どちらともいえない
山形県避難者支援情報メールマガジン				
山形県ホームページ（避難されている皆様へ）				
復興ボランティア支援センターやまがたによる情報提供（うえるかむ、つながろうネットなど）				
山形県から送付された冊子・リーフレット（冬の山形暮らし、相談窓口のおしらせなど）				
生活支援相談員による訪問や相談				
避難者交流会（サロンやお茶会など）				
避難者（子育て世帯）交流会（ママカフェなど）				
創作活動を通じた交流会（料理教室、手芸教室など）				
健康相談会（まちの保健室など）				
臨床心理士のカウンセリング				
健康づくり教室（健康体操教室、ヨガ教室など）				
小中学生を対象にした学習支援（寺子屋学習など）				

問 8-3 今後、山形県内での避難者への支援として、期待するものをあげてください。(複数回答可)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 生活情報の提供の充実     | 2. 就職に関する情報の提供     |
| 3. 生活資金についての相談    | 4. 住宅に関すること        |
| 5. 心のケア           | 6. 健康増進に関すること      |
| 7. 子育て・教育に関すること   | 8. 戸別訪問による相談の充実    |
| 9. 避難者同士の交流に関すること | 10. 地域住民との交流に関すること |
| 11. 各種イベントへの招待    | 12. 放射線に関する情報の提供   |
| 13. 避難元との交通に関すること | 14. 冬の生活に関すること     |
| 15. その他 ( )       |                    |
| 16. 特別な支援は必要ない    |                    |

問 8-4 今後実施して欲しい避難者支援事業をご記入ください。

## ■ 自由記入欄

- ・ 避難元に対して山形県から伝えてもらいたいこと
- ・ 政府に対して山形県から伝えてもらいたいこと
- ・ その他、避難生活で感じていることなど

アンケートにご協力いただきありがとうございました



発行元 山形県

山形県環境エネルギー部 危機管理・くらし安心局  
危機管理課 復興・避難者支援室

〒990-8570 山形県山形市松波二丁目 8-1

電話 023-630-3100